

ウォシュレット® KH TCF165・TCF175

washLÉT®

商品の
お問い合わせは

TOTO(株)お客様相談室へ
TEL ☎0120-03-1010
FAX ☎0120-09-1010
 受付時間：平日 9:00-18:00
 土・日・祝日 10:00-18:00
 (夏期休暇・年末年始を除く)

修理のご用命は

TOTOメンテナンス(株)修理受付センターへ
TEL ☎0120-1010-05
FAX ☎0120-1010-02
 受付：年中無休
 受付時間：関東・甲信越地区 8:00-20:00
 上記以外の地区 9:00-20:00
 訪問修理：年中無休(一部地域を除く)
 営業時間：9:00-18:00

補修用部品
のご購入は

TOTOメンテナンス(株)TOTOパーツセンターへ
TEL ☎0120-8282-55
FAX ☎0120-8272-99
 受付時間：平日 9:00-18:00
 土・日・祝日 10:00-18:00
 (夏期休暇・年末年始を除く)



安全上のご注意	2	はじめに
使用上のご注意	5	
機能の紹介	6	
各部のなまえ	7	
取り付けかた	8	取り付け
ご使用前の確認	24	
標準的な使いかた	26	使いかた
温度調節のしかた	28	
脱臭のしかた	30	
節電のしかた	31	
お手入れのしかた	34	お手入れ
日常のお手入れ	35	
念入りなお手入れ	36	
●ウォシュレット本体、便座、便ふた	36	
●ウォシュレット本体と便器のすき間	38	
定期的なお手入れ	38	
●電源プラグ	38	
●脱臭フィルター	39	
●ノズル	39	
●給水フィルター	40	
凍結による破損の予防及び 長期間使わないときの処置	41	こんなときは
故障かな!?と思ったら	44	
脱臭カートリッジの取り替えかた	47	
アフターサービス	48	
定期点検情報	48	
仕様	49	
交換部品/別売品	50	

■このたびは、ウォシュレットをお買い求めいただきまして、まことにありがとうございます。この説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。

■定期的に交換が必要な部品があります。詳しくは48ページ「アフターサービス」の「定期点検情報」をご覧ください。

◆“ウォシュレット”はTOTOの登録商標です。







安全上のご注意

必ずお守りください。






この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
ここに示した注意事項は、安全に関する重要な内容ですので、必ずお守りください。

表示と意味は次のようになっています。





お守りいただく内容を絵表示で区分し、説明しています。

	絵表示の例	絵表示の意味
 警告 誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。		⊘ は、してはいけない「禁止」の内容です。 左図は、「分解禁止」を示します。
 注意 誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性及び物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。		! は、必ず実行していただく「強制」の内容です。 左図は、「必ず守る」を示します。

警告

 水かけ禁止	ウォシュレット本体や電源プラグに水や洗剤をかけない ● 火災や感電の原因になります。
 水場使用禁止	浴室など湿気の多い場所には設置しない ● 火災や感電の原因になります。
 分解禁止	絶対に分解したり、修理・改造は行わない ● 火災や感電の原因になります。
 ぬれ手禁止	ぬれた手で、電源プラグを抜き差ししない ● 感電の原因になります。
 禁止	故障したままでウォシュレットを使いつづけない ● 次のようなときは、電源プラグを抜き、止水栓を閉めて給水を止めてください。 故障とは・・・ <ul style="list-style-type: none"> ● 配管やウォシュレット本体から水漏れしている ● 製品が異常に熱い ● 製品にひびや割れが入っている ● 異音、異臭がしている ● 製品から煙がでている ● 故障したまま使いつづけると、火災や感電、室内浸水の原因になります。 (アフターサービスは48ページ)

警告

 禁止	電源コード・電源プラグや便座コードを破損するようなことはしない ● 傷つけない、加工しない、無理に曲げない、ねじらない、引っ張らない、重いものを載せない、束ねない、挟み込まない、加熱しない ● 傷んだまま使用すると、火災、感電、ショートの原因になります。
	ガタついているコンセントは使わない ● 火災や感電の原因になります。
	指定する電源(交流100V)以外では使用しない ● 火災の原因になります。
	給水位置の真下のコンセントを使用したり、給水ホースと電源プラグ、コンセントを接触させない ● 結露水などにより、コンセントに水がかかり火災や感電の原因になります。
	コンセントや配線器具の定格を超える使いかたをしない ● たこ足配線などで定格を超えると、発熱による火災の原因になります。
 必ず守る	水道水及び飲用可能な井戸水(地下水)以外は使用しない ● 皮膚の炎症などを起こす原因になります。
	車輻・船舶など、移動体への設置はしない ● 火災や感電、故障などの原因になります。 ● ウォシュレット本体がはずれて落下し、けがをする原因になります。
	逆流防止装置(バキュームブレーカー、Oリング)は水の安全を確保するために定期的な点検を行う ● 逆流防止装置(バキュームブレーカー・Oリング)が正常に機能しないと、状況によっては一度吐水した水が逆流する原因になります。(定期点検情報は48ページ)
	低温やけどに注意する ● なが時間便座に座るときは、便座の温度調節を「切」にしてください。 ● 次のような方が暖房便座や温風乾燥をご使用になるときは、周囲の方が便座の温度調節を「切」、乾燥の温度調節を「低」にしてください。 ・ お子様、お年寄りなど自分で適切な温度調節ができない方 ・ 病氣の方、身体の不自由な方など思うとおりに動けない方 ・ 眠気を誘う薬(睡眠薬、かぜ薬など)を服用された方 ・ 深酒をされた方、疲労の激しい方など眠り込むおそれのある方
	強い力や衝撃を与えない ● ウォシュレット本体がはずれて落下し、転倒してけがをする原因になります。 ※ 車いすから移乗される方がご使用になる場合は、過剰な横荷重が加わることにより、便座がはずれて転倒しけがをすることがありますので、固定部を専用部品に取り替えてください。(有料) 取り替えはTOTOメンテナンス(株)修理受付センターへご依頼ください。(48ページ)
 プラグ抜き励行	電源プラグの刃などに付いたほこりは定期的に取り除き、根元まで確実に差し込む ● 火災や感電の原因になります。 電源プラグを抜き、かわいた布でふいてください。
	電源プラグを抜くときは、必ずプラグ本体を持って引き抜く ● コードを引っ張ると電源プラグやコードが傷んで、火災や感電の原因になります。
	お手入れのときには必ず電源プラグをコンセントから抜く ● 感電の原因になります。 ※ 「ノズルそうじスイッチ」機能使用時は除く
 アース接続	アース(D種接地)工事がされていることを確認する ● アース工事がされていないと故障や漏電のとき、感電する原因になります。 アース工事は、お近くの工事店に依頼してください。

⚠ 注意



たばこなどの火気類を近づけない

- 火災の原因になります。

温風吹出口に指やものを入れない

吹出口に手を置かない、衣服をかぶせない

- やけど、感電、焼損の原因になります。



プラスチック部分（ウォシュレット本体など）のお手入れをするときは、ウォシュレットクリーナーやうすめた台所用洗剤（中性）を使用し、次のものは使わない（トイレ用洗剤、住宅用洗剤、ベンジン、シンナー、クレンザー及びナイロンたわしなど）

- プラスチックを傷め、割れてけがをする原因になります。
- 給水ホースを傷め、水漏れの原因になります。



便座・便ふたやウォシュレット本体の上に乗らない、重いものを載せない

- 割れたり、ウォシュレット本体がはずれて落下し、けがをする原因になります。



便座・便ふたを持って製品を持ち上げない

- ウォシュレット本体がはずれて落下し、けがをする原因になります。



ウォシュレット本体

止水栓を開けたままで、給水フィルター付水抜栓をはずさない

- 水が噴き出します。☞給水フィルターのお手入れは40ページ

給水ホースを折り曲げたり、つぶしたりしない

- 水漏れの原因になります。



給水ホース

施工は施工説明書に従って確実にを行う

- 正しく取り付けしていないと水漏れ、感電、火災の原因になります。☞取り付けかたは8ページ

長期間使用しないときは、止水栓を閉めて水を抜き、電源プラグを抜く

☞水抜きのかたは42ページ

- 再使用するときは、水が腐敗して皮膚の炎症などを起こす原因になりますので、再通水してご使用ください。☞再通水のかたは43ページ



水漏れが発生したときは、止水栓を閉めて給水を止める



給水フィルター付水抜栓を取り付けるときは確実に締める

- 確実に締めないで水漏れの原因になります。

凍結による破損の予防を行う

- 凍結すると給水配管やウォシュレット本体内部が破損して、水漏れする原因になります。
- 暖房するなどしてトイレをあたためてください。☞凍結による破損の予防は41～43ページ

はじめに

使用上のご注意

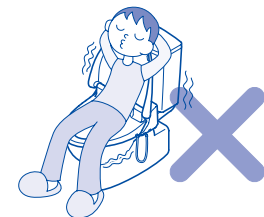
次のことをお守りください。

傷つきや破損を防ぐために！

ウォシュレット本体、便座、便ふたなどのプラスチック部分は、かわいた布やトイレトーパーなどでふかない

- 水でぬらしたやわらかい布をよくしぼってふいてください。☞お手入れのかたは34ページ

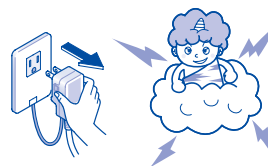
便ふたに寄りかからない



雷が発生しているときは…

電源プラグを抜く

故障の原因になります。



故障を防ぐために！

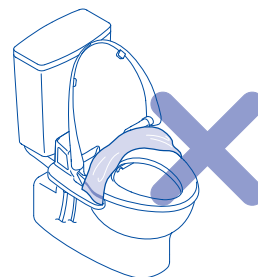
ウォシュレット本体やノズルに小便がかからないようにする



誤作動などを防ぐために！

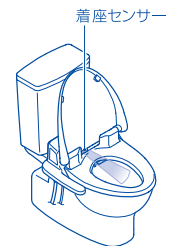
着座センサーをおおわない

- ウォシュレットが誤作動する原因になります。



？ 着座センサーとは…

- 着座センサーは人が座ったことを検知するものです。
- 着座センサーからは図のように赤外線が出ています。
- 使用状態によっては着座センサーがはたらきにくくなることがあります。☞46ページ



ラジオなどはウォシュレットから離して使う

- ラジオの雑音が入ることがあります。

直射日光が当たらないようにする

- 変色や暖房便座の温度ムラが生じる原因になります。

便座の上に幼児用補助便座・やわらか補高便座などを置いて使用した場合は、使用後取りはずす

- 一部の機能が使用できなくなることがあります。

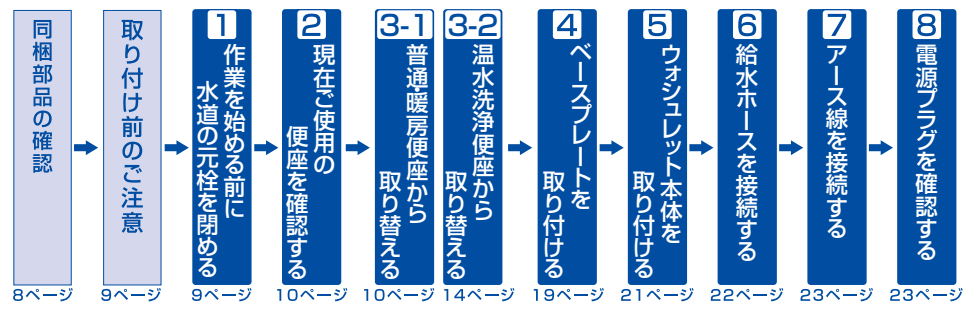
安全上のご注意／使用上のご注意

取り付けかた

お取り付けの前には必ずこの項をよくお読みいただき、手順に従って、正しく取り付けてください。
 商品については、TOTO(株)お客様相談室 TEL ☎0120-03-1010 FAX ☎0120-09-1010
 にお問い合わせください。
 ※安全上の警告・注意及び使用上のご注意(☎2~5ページ)を必ずお守りください。

取り付け手順

● 次の手順に従って、正しく取り付けてください。



使用する主なもの



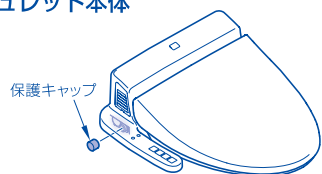
次の工具があれば便利です。

- ドライバー
- パイプカッター
(内ねじタイプの止水栓で普通・暖房便座から取り替える場合、既設の給水管を切断するときに使用します。)

同梱部品

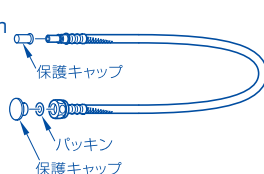
● 次の部品があるかどうか確認してください。
 ※ウォシュレット本体や給水ホースに付いている保護キャップは取付直前にはずしてください。(ゴミなどの侵入を防止します。)

ウォシュレット本体



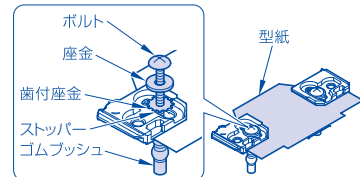
①給水ホース

長さ:約970mm



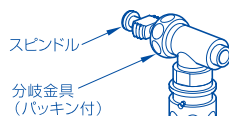
②ベースプレート

※分解せずにこのままで便座に取り付けてください。

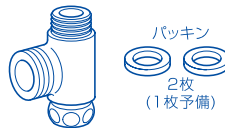


③分岐金具(スピンドル付)

※スピンドルは分岐金具にセットされています。



④分岐継手



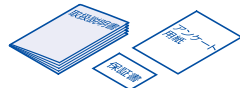
⑤便座はずし工具



⑥専用スパナ



⑦取扱説明書、アンケート用紙、保証書



取り付け前のご注意

すでにベースプレートが付いている製品を取り替える場合でも必ず同梱のベースプレートに取り替えてください。
 ※旧型のベースプレートではウォシュレットの取り付けができません。

- 製品への通電及び通水は取付作業をすべて終えてから行ってください。
 - 便座に取り付ける前に、ウォシュレット本体にベースプレートをセットして通電しないでください。
 温水タンクが空の状態ではヒータが入るため故障の原因になります。
 - 電源は交流100V(50/60Hz)、定格消費電力は414Wです。必ずこの電力に適した配線をしてください。
 (ウォシュレット専用の配線をおすすめします。)
 - 電源コードの長さは約1mです。コンセントはこの長さに適した位置に設置しているか確認してください。
 - 給水圧力は0.05MPa(流動圧)~0.75MPa(静水圧)です。この圧力範囲でご使用ください。
 - 給水温度は0~35℃です。この温度範囲でご使用ください。
 - 給水ホースの長さは約970mmです。給水取り出し位置は、ウォシュレット本体が着脱できる余裕を設けてください。
 もし給水ホースの長さが足りない場合は、22ページ「⑥給水ホースを接続する」の⑥項に長い給水ホースを記載していますので適切な長さのホースを選んでください。
 お求めはTOTOメンテナンス(株)TOTOパーツセンターTEL ☎0120-8282-55 FAX ☎0120-8272-99へご連絡ください。
 - 温水洗浄便座からの取り替えの場合、別売品のロータンク接続用フレキホースをご購入していただく場合があります。
 詳しくは15ページ「②現在ご使用の止水栓タイプを確認する」をご覧ください。
 16、18ページ「ロータンク接続用フレキホース(別売品)を取り付ける」に一覧表を記載していますので、適切な長さのフレキホースを選んでください。
 お求めはTOTOメンテナンス(株)TOTOパーツセンターTEL ☎0120-8282-55 FAX ☎0120-8272-99へご連絡ください。
 ※内ねじタイプの止水栓で普通・暖房便座から取り替える場合は、既設の給水管を切断して使用できますが、ロータンク接続用フレキホースを取り付けることもできますので、必要な場合はご購入ください。(☎13ページ)
 - フラッシュバルブ式便座への取り付けは、専門業者による取り付けが必要です。
- ※出荷前に通水検査をしていますので、製品内に水が残っている場合がありますが、製品には問題ありません。


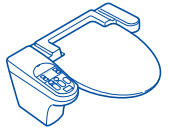
1 作業を始める前に水道の元栓を閉める

元栓を閉めるときは、ガス給湯機や洗濯機などの使用を止めてください。

水道メーターと一体になった元栓の場合	埋込み式の元栓の場合	マンションなどの場合
メーターボックスの止水栓を閉める	止水栓キーなどで閉める	玄関入口横の扉の中などにあります。

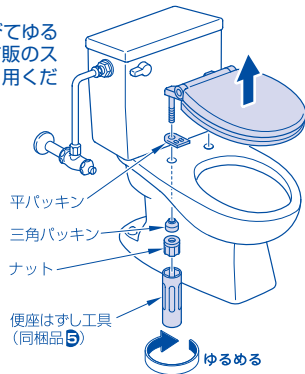
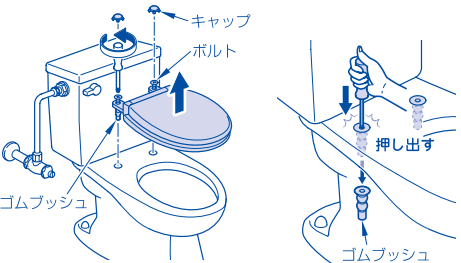
元栓を閉めた後に、近くの蛇口などで水が出ないことを確認してください。

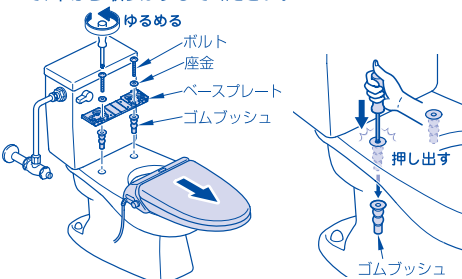
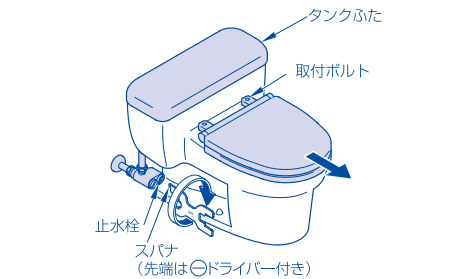
2 現在ご使用の便座を確認する

普通便座・暖房便座（ウォームレット）の場合	温水洗浄便座（ウォッシュレット）の場合
 <p>引き続き 3-1 普通・暖房便座から取り替える にお進みください。</p>	 <p>3-2 温水洗浄便座から取り替える にお進みください。</p>

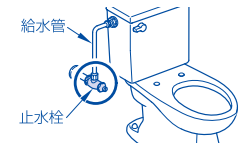
3-1 普通・暖房便座から取り替える

1 普通・暖房便座を取りはずす
※水道の元栓を閉め、近くの蛇口などで水が出ないことを確認してください。

<p>ボルトナットで便座が取り付けられている場合</p> <p>便座はずし工具（同梱品⑤）でナット（左右2個）をはずし、便座を取りはずす ※金属ナットがさびてゆるまなときは、市販のスプレー剤をご使用ください。</p>  <p>平パッキン 三角パッキン ナット 便座はずし工具（同梱品⑤） ゆるめる</p>	<p>ゴムブッシュで便座が取り付けられている場合</p> <p>①キャップをはずす ②ボルトを⊕ドライバーでゆるめてはずし、便座を取りはずす ※ゴムブッシュがはずしにくいときは、便座やボルトを取り除いた後に⊕ドライバーで上から押さえて、下から取りはずしてください。</p>  <p>キャップ ボルト 押し出す ゴムブッシュ</p>
--	--

<p>ベースプレートで便座が取り付けられている場合</p> <p>①本体を取りはずす ②ベースプレートのボルトを⊕ドライバーでゆるめて取りはずす ※ゴムブッシュがはずしにくいときは、ボルト・座金・ベースプレートを取り除いた後に⊕ドライバーで上から押さえて、下から取りはずしてください。</p>  <p>ゆるめる ボルト 座金 ベースプレート ゴムブッシュ 押し出す ゴムブッシュ</p>	<p>ワンピース便器に便座が取り付けられている場合</p> <p>①止水栓を閉める ②タンク下側のナット（左右2個）をゆるめて便座を取りはずす ※便器の種類によっては、タンク内にナットがあります。タンクふたをはずして、ナットをゆるめて便座を取りはずしてください。</p>  <p>タンクふた 取付ボルト 止水栓 スパナ（先端は⊕ドライバー付き）</p>
--	--

2 現在ご使用の止水栓タイプを確認する



<p>一般的な止水栓</p> <p>【アングル形】 【ストレート形】</p> <p>外径13mmの給水管 止水栓</p> <p>引き続き 3 一般的な止水栓に分岐金具を取り付ける にお進みください。</p>	<p>内ねじタイプの止水栓</p> <p>【アングル形】 【ストレート形】</p> <p>外径13mmの給水管 本体の内側にねじが切っているタイプ 止水栓</p> <p>4 内ねじタイプの止水栓に分岐金具を取り付ける にお進みください。</p>	<p>寒冷地の場合</p> <p>※専門業者による取り付けが必要です。 お近くの販売店またはTOTOメンテナンス（株）修理受付センターTEL ☎0120-1010-05 FAX ☎0120-1010-02 にご依頼ください。</p>
--	---	--

3 一般的な止水栓に分岐金具を取り付ける

同梱品⑤の専用スパナを使用して取りはずし・取り付けを行ってください。

1 既設止水栓の部品を取りはずす

①ロータンクの水を流す（給水管内の圧抜きです。）
●ロータンクに給水されないことを確認してください。

※配管内の残水を洗面器などで受ける

※転居などのため取りはずした部品の保管をおすすめします

②キャップナットをはずす

③スピンドルを回して取りはずす

2 分岐金具（同梱品⑤）を止水栓に取り付ける

①スピンドルを分岐金具から引っ張ってははずし、止水栓の奥までねじ込む

②スピンドルに分岐金具（パッキン付）を通して取り付ける

③分岐金具の袋ナットを止水栓に締め付ける
※分岐金具は給水ホースを自由に動かせるように回転する構造になっています。

④分岐金具を取り付けた後、止水栓は必ず締め込む

※給水ホース接続部は下に向ける

スパナ（先端は⊕ドライバー付き）

取付完成図

19ページ **4 ベースプレートを取り付ける** にお進みください。

取り付けかた

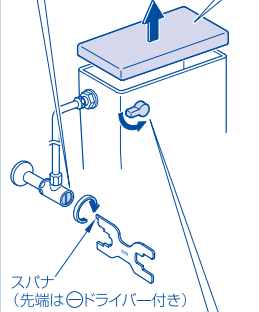
④内ねじタイプの止水栓に分岐金具を取り付ける

同梱品⑤の専用スパナを使用して取りはずし・取り付けを行ってください。
 ※トイレの止水栓を閉めることにより、ロータンの給水を止めることもできます。

①ロータンの水を抜く

①止水栓をいっぱい
に締める

②ロータンクふたをはずす
●手洗い付きの場合は接続
ホースをはずしてください。

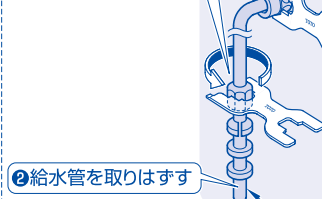


③ロータンクの水を流す
(給水管内の圧抜きです。)
●ロータンクに給水されない
ことを確認してください。

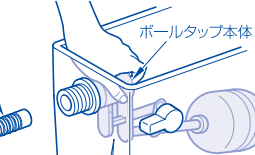
②給水管を取りはずす

注意
消音ブッシュがある場合は取り
付けたままにしてください。

①上下のナットをゆるめる



②給水管を取りはずす



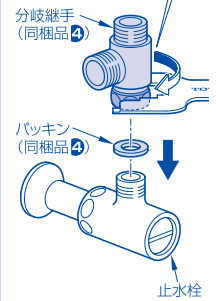
注意
ボールタップ本体をしっかり
持ってナットをゆるめてくだ
さい。

※転居などのため取りはずした
部品の保管をおすすめします

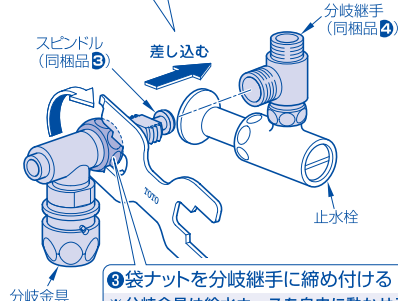
※配管内の残水を洗面器
などで受ける

③分岐継手(同梱品④)を止水栓に取り付ける

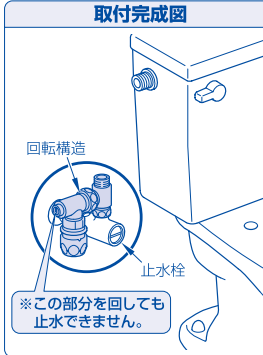
①分岐継手の袋ナットを
止水栓に締め付ける



②スピンドルごと分岐金具を分岐
継手に差し込む
※スピンドルは回転しますが、止水機能は
ありません。



③袋ナットを分岐継手に締め付ける
※分岐金具は給水ホースを自由に動かせる
ように回転する構造になっています。



取付完成図

回転構造
※この部分を回しても
止水できません。

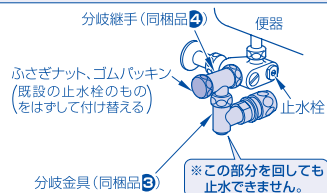
ワンピース便器の場合の取付完成図

【取付手順】

- ①止水栓を開める
- ②ふさぎナット、ゴムパッキンをはずす(既設品)
- ③パッキンをセットして分岐継手を取り付ける
- ④分岐金具(スピンドル付)を分岐継手に取り付ける
- ⑤②のふさぎナット、ゴムパッキンを分岐継手に取り付ける

【確認】

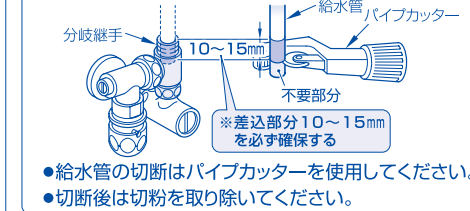
- ⑥接続部から水漏れがないか確認する



※この部分を回しても
止水できません。

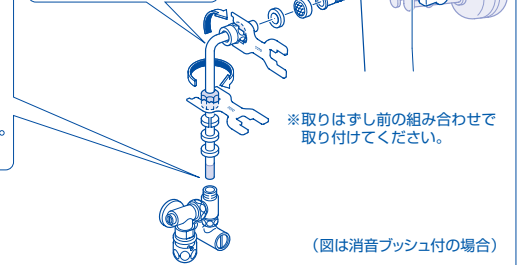
④取りはずした給水管を切断して取り付ける

①給水管を切断する



- 給水管の切断はパイプカッターを使用してください。
- 切断後は切粉を取り除いてください。

②給水管を取り付ける

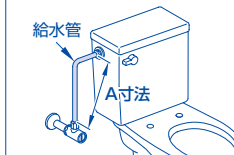


※取りはずし前の組み合わせで
取り付けてください。

(図は消音ブッシュ付の場合)

既設の給水管を使用せずに、ロータンク接続用フレキホース(別売品)を取り付けることもできます。

※下図のA寸法に合った
フレキホースを右表より
選んでご購入くださ
い。

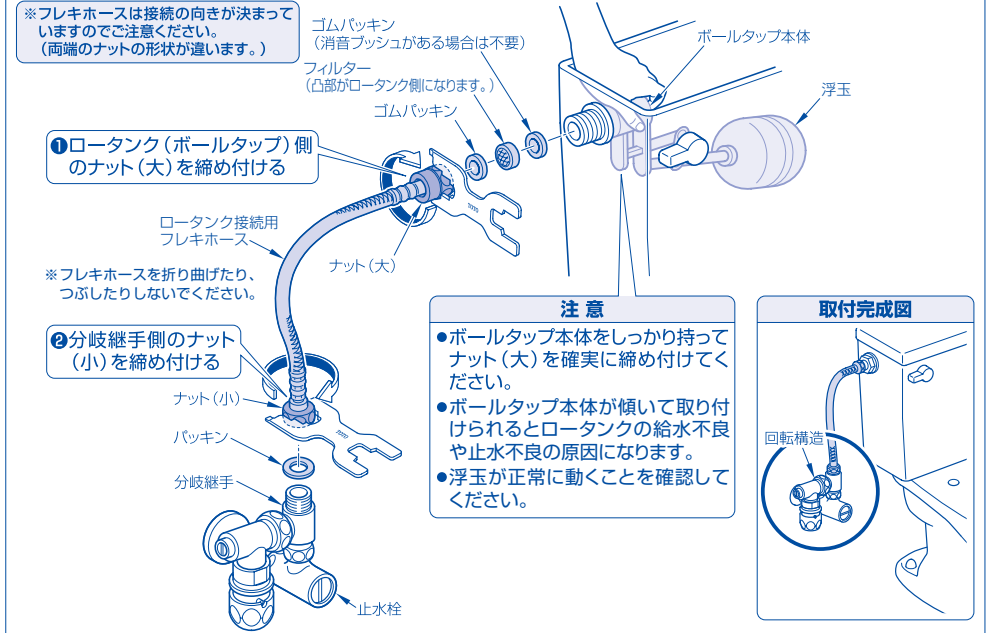


A寸法(mm)	フレキホース長さ(mm)	品番	希望小売価格
120~150	200	TCA61-2R	¥1,450 (税込¥1,523)
150~200	450	TCA61-1N	¥1,700 (税込¥1,785)
200~250	300	TCA61-3R	¥1,550 (税込¥1,628)
250~300	350	TCA61N	¥1,600 (税込¥1,680)
300~400	450	TCA61-1N	¥1,700 (税込¥1,785)

※A寸法が150~200mmの
場合は、450mmのフレキ
ホースをループさせてご
使用ください。

※品番や希望小売価格は予告なく変更する場合がありますので
あらかじめご了承ください。

※フレキホースは接続の向きが決まっ
ていますのでご注意ください。
(両端のナットの形状が違います。)



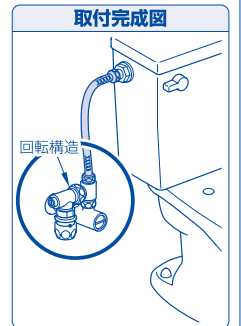
①ロータンク(ボールタップ)側
のナット(大)を締め付ける

※フレキホースを折り曲げたり、
つぶしたりしないでください。

②分岐継手側のナット
(小)を締め付ける

注意

- ボールタップ本体をしっかり持って
ナット(大)を確実に締め付けてく
ださい。
- ボールタップ本体が傾いて取り付
けられるとロータンクの給水不良
や止水不良の原因になります。
- 浮玉が正常に動くことを確認して
ください。



取付完成図

19ページ ④ベースプレートを取り付ける にお進みください。

取り付けかた

3-2 温水洗浄便座から取り替える

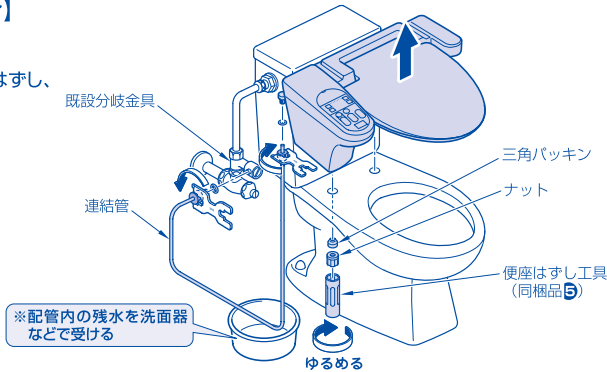
① 温水洗浄便座を取りはずす

※水道の元栓を閉め、近くの蛇口などで水が出ないことを確認してください。

TOTOウォシュレット (代表例を示す)

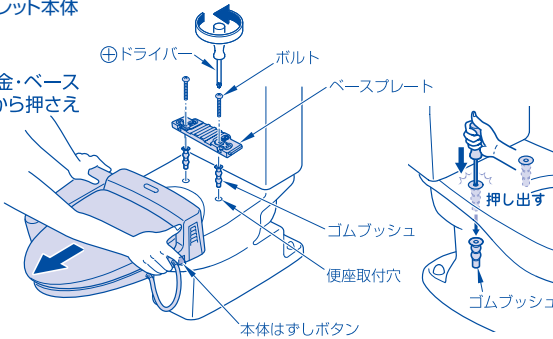
【ボルトナットで取り付けしている場合】

- ①電源プラグをコンセントから引き抜く
- ②連結管のナットをゆるめ、取りはずす
- ③便座はずし工具 (同梱品⑤) でナットをはずし、ウォシュレットを取りはずす



【ベースプレートで取り付けしている場合】

- ①右側の本体ははずしボタンを押したままウォシュレット本体を手前に引く
 - ②ベースプレートのボルトをゆるめてはずす
- ※ゴムブッシュがはずしにくいときは、ボルト・座金・ベースプレートを取り除いた後に⊕ドライバーで上から押さえて、下からはずしてください。

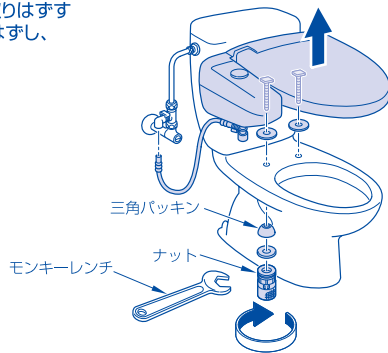


注意

すでにベースプレートが付いている製品を取り替える場合でも必ず同梱のベースプレートに取り替えてください。
※既設 (旧型) のベースプレートではウォシュレットが作動しません。(新型のベースプレートは本体着脱検出用のスイッチを内蔵しています。)

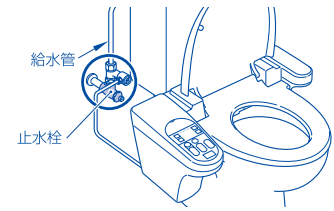
TOTOウォシュレット以外 (代表例を示す)

- ①電源プラグをコンセントから引き抜く
- ②給水ホースのナットをゆるめ、取りはずす
- ③モンキーレンチなどでナットをはずし、温水洗浄便座を取りはずす



② 現在ご使用の止水栓タイプを確認する

※製品の違いやメーカーの違いによって、分岐金具の形状が異なりますが、取り替えかたの手順は同じです。



一般的な止水栓		内ねじタイプの止水栓
<p>【TOTO品】</p> <p>既設給水管 既設分岐金具</p> <p>※ロータンク接続用フレキホースを購入してください。</p>	<p>【他社品】</p> <p>既設給水管 (そのまま使用) できます。</p> <p>既設分岐金具</p> <p>既設給水管 (そのまま使用) できます。</p> <p>既設分岐金具</p> <p>※このタイプの止水栓及び分岐金具の場合、既設給水管は取りはずさずそのまま使用できます。</p>	<p>【他社品】</p> <p>既設給水管 既設分岐金具</p> <p>既設給水管 既設分岐金具</p> <p>既設給水管 既設分岐金具</p> <p>※ロータンク接続用フレキホースを購入してください。</p>
<p>引き続き</p> <p>③一般的な止水栓に分岐金具を取り付ける にお進みください。</p>	<p>3-1 普通・暖房便座から取り替える</p> <p>④一般的な止水栓に分岐金具を取り付ける にお進みください。</p> <p>①11ページ</p>	<p>④内ねじタイプの止水栓に分岐金具を取り付ける にお進みください。</p> <p>①17ページ</p>

③ 一般的な止水栓に分岐金具を取り付ける

同梱品⑤の専用スパナを使用して取りはずし・取り付けを行ってください。

①ロータンクの水を抜く

①止水栓をいっぱい閉める

②ロータンクふたをはずす
●手洗い付きの場合は接続ホースをはずしてください。

③ロータンクの水を流す (給水管内の圧抜きです。)
●ロータンクに給水されないことを確認してください。

②既設分岐金具と給水管を取りはずす

注意
ボールタップ本体をしっかり持ってナットをゆるめてください。

①上下のナットをゆるめる
※転居などのため取りはずした部品の保管をおすすめします

注意
消音ブッシュがある場合は取り付けたままにしてください。

②給水管を取りはずす

③既設分岐金具を取りはずす

※配管内の残水を洗面器などで受ける

取り付けかた

③分岐継手(同梱品④)を止水栓に取り付ける

①分岐継手の袋ナットを止水栓に締め付ける

②スピンドルごと分岐金具を分岐継手に差し込む
※スピンドルは回転しますが、止水機能はありません。

③分岐金具の袋ナットを分岐継手に締め付ける
※分岐金具は給水ホースを自由に動かせるように回転する構造になっています。

取付完成図
※この部分を回しても止水できません。

④ロータンク接続用フレキホース(別売品)を取り付ける

※下図のA寸法に合ったフレキホースを右表より選んでご購入ください。

A寸法(mm)	フレキホース長さ(mm)	品番	希望小売価格
120~150	200	TCA61-2R	¥1,450 (税込¥1,523)
150~200	450	TCA61-1N	¥1,700 (税込¥1,785)
200~250	300	TCA61-3R	¥1,550 (税込¥1,628)
250~300	350	TCA61N	¥1,600 (税込¥1,680)
300~400	450	TCA61-1N	¥1,700 (税込¥1,785)

※A寸法が150~200mmの場合は、450mmのフレキホースをループさせてご使用ください。

①ロータンク(ボールタップ)側のナット(大)を締め付ける

②分岐継手側のナット(小)を締め付ける

注意

- ボールタップ本体をしっかり持ってナット(大)を確実に締め付けてください。
- ボールタップ本体が傾いて取り付けられるとロータンクの給水不良や止水不良の原因になります。
- 浮玉が正常に動くことを確認してください。

取付完成図

④内ねじタイプの止水栓に分岐金具を取り付ける

同梱品⑤の専用スパナを使用して取りはずし・取り付けを行ってください。
※トイレの止水栓を閉めることにより、ロータンクの給水を止めることもできます。

①ロータンクの水を抜く

②既設分岐金具と給水管を取りはずす

③ロータンクの水を流す(給水管内の圧抜きです。)

④分岐継手の袋ナットを止水栓に締め付ける

⑤スピンドルごと分岐金具を分岐継手に差し込む

⑥分岐金具の袋ナットを分岐継手に締め付ける

注意

- ボールタップ本体をしっかり持ってナットをゆるめてください。
- 消音ブッシュがある場合は取り付けたままにしてください。
- 上下のナットをゆるめる
- 給水管を取りはずす
- 既設分岐金具を取りはずす

③分岐継手(同梱品④)を止水栓に取り付ける

①分岐継手の袋ナットを止水栓に締め付ける

②スピンドルごと分岐金具を分岐継手に差し込む
※スピンドルは回転しますが、止水機能はありません。

③分岐金具の袋ナットを分岐継手に締め付ける
※分岐金具は給水ホースを自由に動かせるように回転する構造になっています。

ワンピース便器の場合の取付完成図

【取付手順】

- 止水栓を閉める
- ふさぎナット、ゴムパッキンをはずす(既設品)
- パッキンをセットして分岐継手を取り付ける
- 分岐金具(スピンドル付)を分岐継手に取り付ける
- ②のふさぎナット、ゴムパッキンを分岐継手に取り付ける

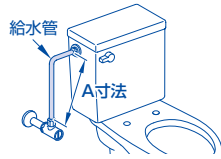
【確認】

- 接続部から水漏れがないか確認する

取り付けかた

④ ロータンク接続用フレキホース（別売品）を取り付ける

※下図のA寸法に合ったフレキホースを右表より選んでご購入ください。

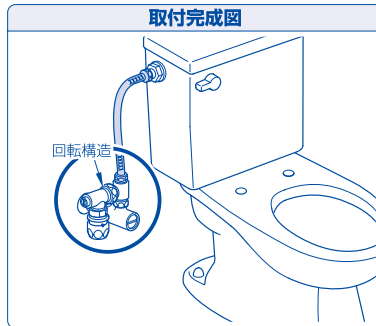
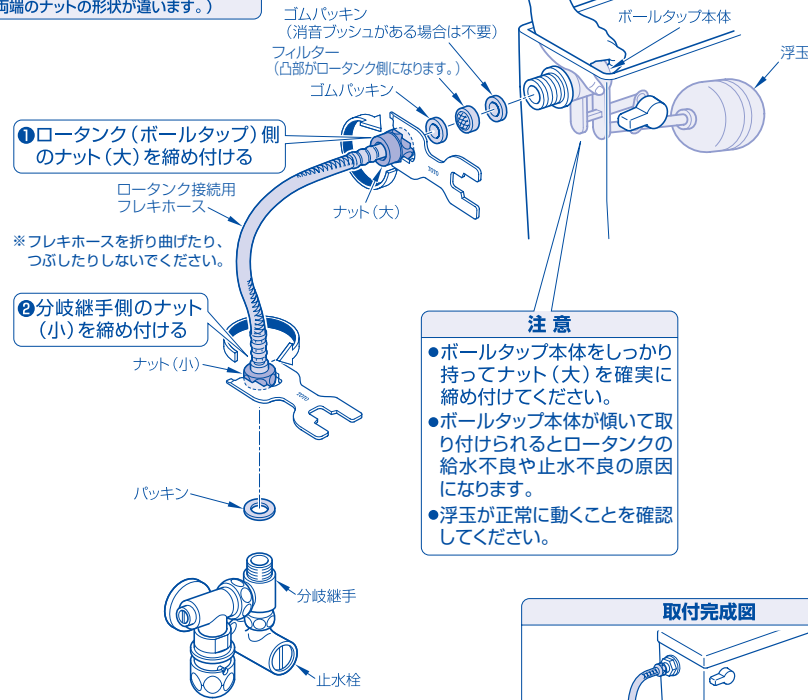


A寸法 (mm)	フレキホース長さ (mm)	品番	希望小売価格
120~150	200	TCA61-2R	¥1,450 (税込¥1,523)
150~200	450	TCA61-1N	¥1,700 (税込¥1,785)
200~250	300	TCA61-3R	¥1,550 (税込¥1,628)
250~300	350	TCA61N	¥1,600 (税込¥1,680)
300~400	450	TCA61-1N	¥1,700 (税込¥1,785)

※品番や希望小売価格は予告なく変更する場合がありますのであらかじめご了承ください。



※フレキホースには接続の向きが決まっていますのでご注意ください。（両端のナットの形状が違います。）



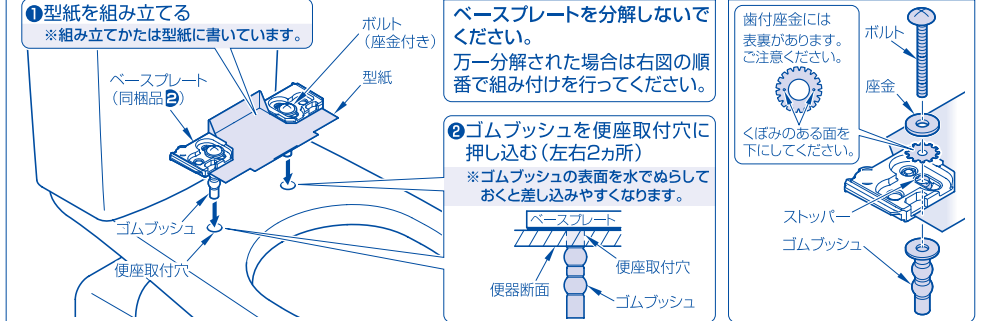
☞ 19ページ ④ ベースプレートを取り付ける にお進みください。

4 ベースプレートを取り付ける

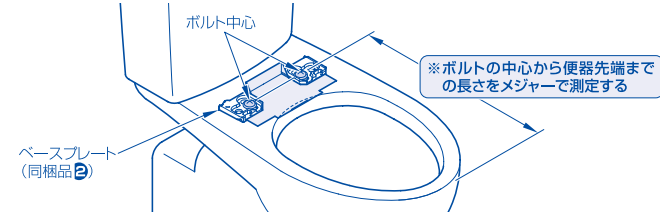
① 取付準備

① ベースプレート（同梱品②）をセットする

ベースプレートに付いている型紙はウォシュレットの取付位置を決めるためのものです。この型紙を用いて正しくセットしてください。



② 便器のサイズを調べる



約47cm:大型サイズの便器です。

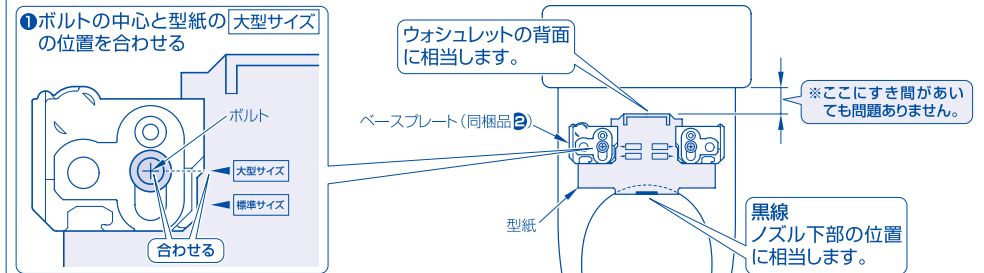
約44cm:標準サイズの便器です。

引き続き
②大型サイズ便器の場合の
ベースプレート位置
にお進みください。

④標準サイズ便器の場合の
ベースプレート位置
にお進みください。

② 大型サイズ便器の場合のベースプレート位置

ベースプレートの位置を決める



☞ 20ページ ④ ベースプレートを固定する にお進みください。

取り付けかた

③標準サイズ便器の場合のベースプレート位置

ベースプレートの位置を決める

①ボルトの中心と型紙の標準サイズの位置を合わせる

②ロータンクと型紙の後ろにすき間があることを確認する

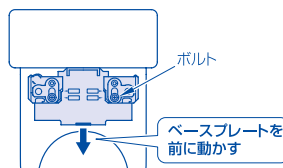
③型紙の黒線が便器のふちより前に出ているか、または一致していることを確認する

○前に出ている ○一致している ✕便器ふちより後ろ

すき間あり
ノズル下部が便器に乗り上げた状態です。

②③の条件が✕の場合

片方でも✕の場合は右図のようにベースプレートを動かして②、③の条件が両方○になるようにしてください。



④ベースプレートを固定する

①ベースプレートを固定する

①合わせた位置がずれないように手でベースプレートをしっかり押さえる

②ドライバーでボルトが回らなくなるまでしっかり締め付ける(かなり回します。)

確認
取り付け後、ベースプレートがしっかり固定されているか確認してください。

ゆっくり引き上げる

※転居などのため取りはずした型紙の保管をおすすめします。

⑤ウォシュレット本体を取り付ける

ウォシュレット本体の取り付けかた

①ウォシュレット本体の中心と、ベースプレートの中心を合わせ「カチッ」と音がするまで押し込む

②まっすぐ取り付けているか確認する

③ウォシュレット本体を軽く手前に引っ張って製品がはずれないことを確認する

注意

正しく取り付けなかった場合は、ウォシュレット本体をはずしてベースプレートをセットし直してください。

← P.19 ページ ①取付準備にお戻りください。

ウォシュレット本体の取りはずしかた

ウォシュレット本体右側の本体はずしボタン(及び水抜きレバー)を押したまま、ウォシュレット本体を手前に引いてください。

本体はずしボタン(及び水抜きレバー)

※ウォシュレット本体を便器にセットしたときに、上下左右に多少ガタつきが発生します。これはウォシュレット本体ワンタッチ着脱のために、スライド部に設けられたすき間のためです。異常ではありません。

※標準サイズ便器に設置した場合、便座の先端が便器より多少出っ張ったり便器のふちが見えることがあります。異常ではありません。

※便ふたを立てた状態で便ふたが倒れてくるときは、ウォシュレット本体をはずしてもう一度ベースプレートを少し前に取り付け直して、便ふたが倒れなくなるまで調整してください。

※大型サイズ便器に設置した場合でも、取付便器によっては便器先端が多少出っ張ることがあります。出っ張りが大きいときは、もう一度ベースプレートの位置を調整してください。

取り付けかた

6 給水ホースを接続する

給水ホースの取り付けかた

①ウォシュレット本体をベースプレートから取りはずす ⑤ウォシュレット本体の取り付けかたは21ページ

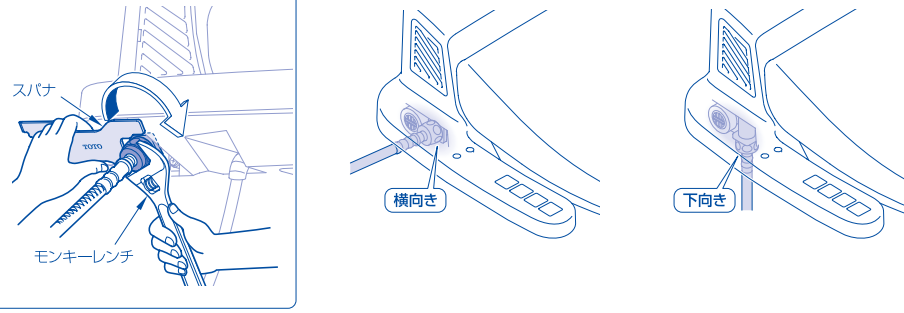
②ウォシュレット本体の給水口に給水ホース(同梱品①)の袋ナットを締め付ける

△注意

給水口をスパナで固定して給水ホースを接続してください。

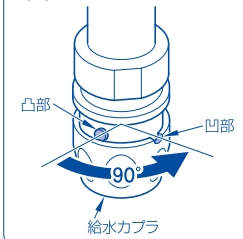
無理な力を給水口に加えると給水口が破損して水漏れの原因になります。

ウォシュレット本体の給水口は下向きと横向きに回転します。ワンピース便器の場合は給水口を横向きにしてください。



③給水ホースのプラグ側を分岐金具の給水カブラに差し込む
※「カチッ」と音がするまで差し込んでください。

④給水カブラを手で回して、凹部と凸部が90°ずれた位置にする



⑤給水ホースを取り付けた状態で、ウォシュレット本体が着脱できる長さがあるか確認する
※給水ホースの長さが足りないときは、下記の中から適切な長さのホースを選んでご購入ください。(同梱品の給水ホースの長さは約970mmです。) お求めはTOTOメンテナンス(株)TOTOパーツセンター TEL ☎0120-8282-55 FAX ☎0120-8272-99へご連絡ください。
※分岐金具の給水カブラは一時的止水機能付ですが、給水ホースをはずすときは必ず止水栓を閉めてください。

給水ホース長さ違い一覧表

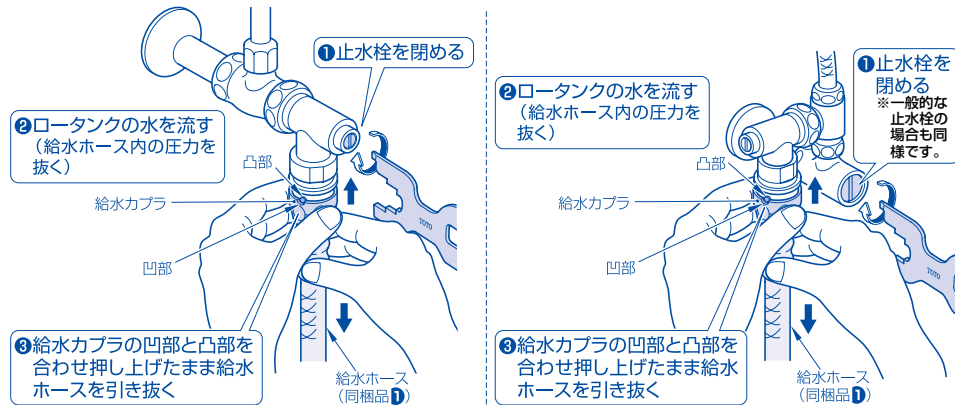
給水ホース長さ(mm)	品番	希望小売価格
1180	D24009ZNt5	¥2,000(税込¥2,100)
1480	D24009ZNt6	¥2,300(税込¥2,415)
1980	D24009ZNt7	¥2,800(税込¥2,940)

●品番や希望小売価格は予告なく変更する場合がありますので、あらかじめご了承ください。

⑥ウォシュレット本体をベースプレートに取り付ける ⑤ウォシュレット本体の取り付けかたは21ページ

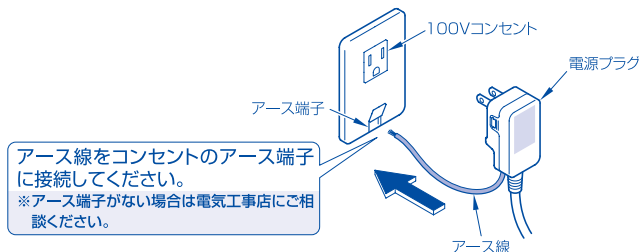
給水ホースのはずしかた

※分岐金具の取り付けかたで止水栓の位置が異なります。施工のやり直しなどで給水ホースを取りはずすときは次の手順で行ってください。



7 アース線を接続する

アース線を確実に取り付ける



アース線をコンセントのアース端子に接続してください。
※アース端子がない場合は電気工事店にご相談ください。

8 電源プラグを確認する

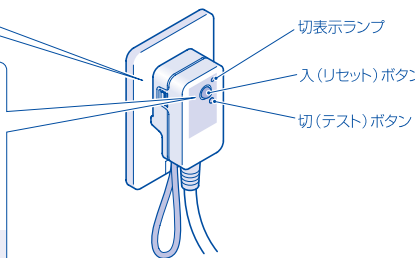
電源プラグを取り付ける

①電源プラグを100V(50/60Hz)のコンセントに差し込む
※ノズルがいったん出て戻る動作を行うか確認してください。

②電源プラグの「入」・「切」ボタンを押して、正常に作動することを確認する

「切(テスト)」ボタンを押す 「入(リセット)」ボタンを押す
↓ ↓
「切表示」ランプが点灯する 「切表示」ランプが消灯する
以上のように作動すれば正常です。

※「切表示」ランプが点灯している状態では通電されません。確認後は、必ず「入(リセット)」ボタンを押してください。



取り付けが終わったら、⑤24ページご使用前の確認を必ず行ってください。

取り付けかた

ご使用前の確認

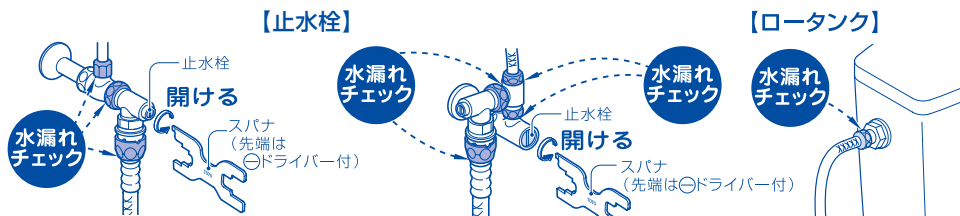
ウォシュレットを取り付け後、はじめてお使いになるときは、次の確認を行ってください。

準備

1 水漏れの点検

※万一水漏れがあれば再施工を行い、水漏れを止めてください。

- ① 給水の前に配管接続部のゆるみがないか、再確認する
- ② 水道の元栓を開く
- ③ 止水栓を開いて配管接続部から水漏れがないことを確認する



④ ウォシュレット本体の給水接続部より水漏れがないことを確認する



2 「ウォシュレット本体操作部」の確認

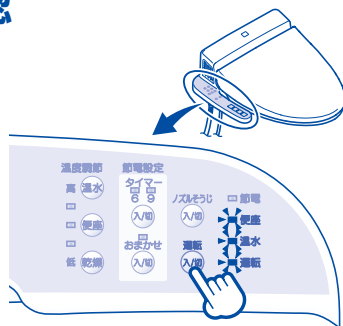
ウォシュレット本体操作部の「運転」「温水」「便座」ランプは点灯していますか？



「運転」ランプが点灯していないと全機能が使用できません。(節電中は除きます(☞32ページ))
ウォシュレット本体操作部の「運転」ランプを押してください。(ランプが点灯します。)

アドバイス

便座・温水の「入」「切」や温度調節は、☞28ページ「温度調節のしかた」をご覧ください。



(図はTCF175)

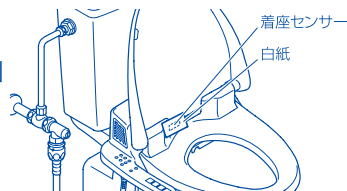
試運転

試運転時に、次のような状態になった場合は、☞44ページ「故障かな!?と思ったら」をご覧ください。

- 動かない ⇨ 44ページ「全機能」
- 水が出ない ⇨ 44ページ「全機能」「おしり洗浄・ビデ洗浄」

1 着座センサーを白紙でおおう

白紙でおおうと着座センサーが検知します。(便座を閉めないで、着座センサーははたらきません。)
着座センサーについて ☞5ページ



2 脱臭機能を確認する

ウォシュレット本体左側面の吹出口より風が出ていますか？

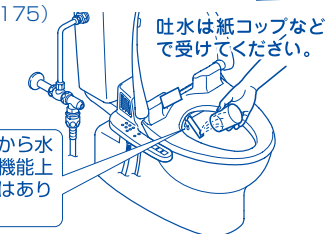


3 洗浄機能を確認する

- 「おしり」を押すとノズルから適温の温水が出ますか？
- 温水タンクが空のときは、吐水するまで約1分、温水になるまで約10分かかります。
- 水勢調節「強」「弱」を押すと水勢が変化しますか？
- 「止」を押すと止まりますか？



(図はTCF175)



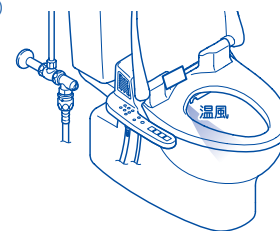
洗浄時ノズルの根元から水が出ますが、これは機能上必要なもので異常ではありません。

4 乾燥機能を確認する (TCF175のみ)

- 「乾燥」を押すと温風が出ますか？
- 「止」を押すと止まりますか？



(図はTCF175)



5 暖房便座機能を確認する

便座があたたまるまで約15分かかります。

6 着座センサーの白紙をはずす

7 止水栓を閉めた後、給水フィルターに付いているゴミを水洗いして取りのぞく

アドバイス

施工時に発生したゴミが給水フィルターに詰まると、おしり・ビデ洗浄時に水勢が弱くなります。
取り付け後は必ず給水フィルターの掃除を行ってください。
詳しくは☞40ページ「給水フィルターのお手入れ」をご覧ください。

標準的な使いかた

1 便座に座る

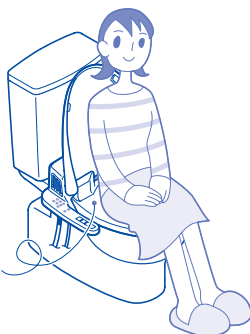
着座センサーがはたらき、各機能が使えるようになります。

- 脱臭が始まります。

アドバイス

便座には深く腰掛けましょう！
洗浄の位置が合いやすく、水の飛び散りが少なくなります。

脱臭開始



2 洗う

止スイッチ

おしり洗浄、ビデ洗浄を止めます。

ビデ洗浄スイッチ

ビデとして使えます。

水勢調節スイッチ

お好みの水勢を5段階で調節できます。
※水勢調節ランプは便座に座ると点灯します。

おしり洗浄スイッチ

おしりを洗います。

快適洗浄

ムーブ洗浄スイッチ

ノズルが前後に動き、広くまんべんなく洗います。

- 1 おしり ビデ 使用するスイッチを押す
- 2 もう一度同じスイッチを押す
▶▶▶ムーブ洗浄をします。
- 3 更にもう一度同じスイッチを押す
▶▶▶ムーブ洗浄をやめます。

アドバイス

温水タンクは貯湯式ですので連続して使用するとお湯の温度が低くなる場合があります。

(図はTCF175)

3 かわかす (TCF175のみ)



止スイッチ

乾燥を止めます。

乾燥スイッチ

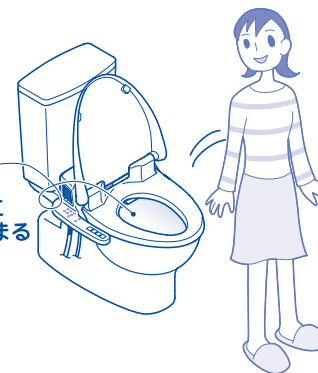
- 温風を当て、ぬれた部分をさらりとさせます。
- トイレットペーパーでかるく水滴を取ると早くかわきます。

(図はTCF175)

4 便座から立ち上がる

- 脱臭が約1分後に止まります。

脱臭が約1分後に自動で止まる



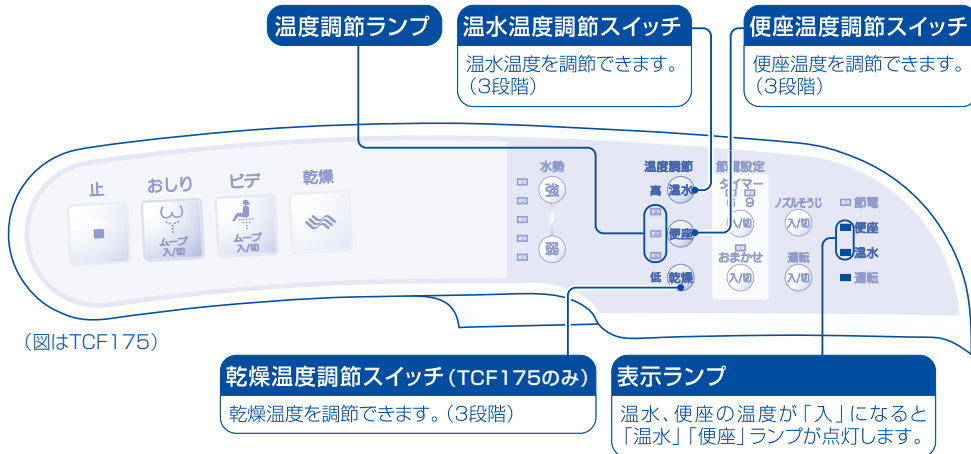
標準的な使いかた

知っておいていただきたいこと

- ノズルの付近からときどき水が出ますが、これは温水タンク内の水が膨張して出てくるもので異常ではありません。
- ウォシュレットは、水道水及び飲用可能な井戸水(地下水)を直接使用しています。(ロータンクの水を使用することはありません。)

温度調節のしかた

温水、便座、乾燥 (TCF175のみ) の温度はウォシュレット本体操作部の温度調節スイッチで調節できます。
お好みの温度でご使用ください。



(図はTCF175)

1 ウォシュレット本体操作部の温度調節スイッチを押す

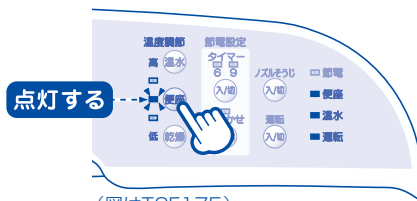
温水、便座、乾燥 (TCF175のみ) のうち、温度を変更したいスイッチを押してください。

↓
温度調節ランプが点灯し、現在の温度レベルが表示されます。

アドバイス

温度調節ランプは、温水・便座・乾燥温度の表示を共有しています。
温度調節スイッチを押したときのみ、押したスイッチの温度レベルを表示します。(乾燥はTCF175のみ)

【例:便座温度を変更する場合】



(図はTCF175)

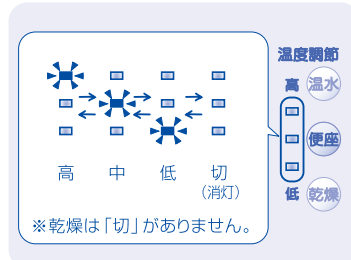
2 お好みの温度レベルになるまで温度調節スイッチを繰り返し押す

↓
スイッチを押すごとに、温度調節ランプが切り替わります。

アドバイス

温度調節中に約10秒間スイッチから手を離すと温度調節ランプは消灯します。そのときは、もう一度スイッチを押してください。

【温度レベルの切り替わりかた】



(図はTCF175)

温水、便座の温度を「切」にするとき

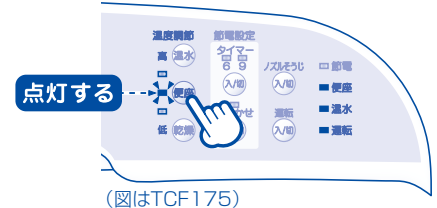
乾燥は温度調節スイッチで切ることはできません。

1 ウォシュレット本体操作部の温度調節スイッチを押す

温水、便座 のうち、「切」にしたいスイッチを押してください。

↓
温度調節ランプが点灯し、現在の温度レベルが表示されます。

【例:便座を「切」にする場合】



(図はTCF175)

2 温度調節ランプが消えるまで温度調節スイッチを繰り返し押す

↓
温度調節ランプが消灯し、「切」になります。

アドバイス

温度調節ランプの消灯と共に、表示ランプも消灯します。

再び「入」にするときは、温水、便座 のうち「入」にしたいスイッチを押して、温度調節ランプを点灯させてください。

アドバイス

温度調節ランプの点灯と共に、表示ランプも点灯します。

消灯する



(図はTCF175)

脱臭のしかた

便座に座ると脱臭がはたらきます。

1 便座に座る

脱臭を始めます。

アドバイス

はじめは、脱臭は「入」に設定されています。



脱臭開始

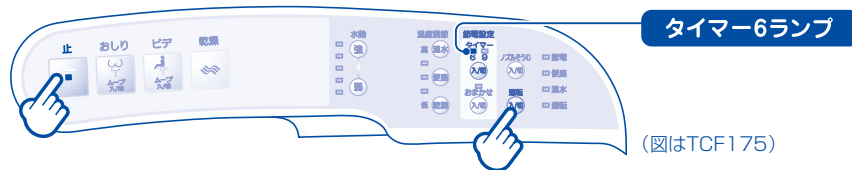
2 便座から立ち上がる

約1分後に自動で止まります。



約1分後
自動で止まる

脱臭を使わないとき



タイマー6ランプ

(図はTCF175)

1 ウォシュレット本体操作部の

止を10秒以上押す

操作部のランプがすべて点滅します。

2 運転入/切を押す

節電設定「タイマー6」ランプが点滅します。

3 もう一度運転入/切を押す

節電設定「タイマー6」ランプが消灯します。

4 もう一度止を押す

脱臭をやめます。

再び脱臭を使うとき

1 ウォシュレット本体操作部の止を10秒以上押す

操作部のランプがすべて点滅します。

2 運転入/切を押す

節電設定「タイマー6」ランプは消灯したままです。

3 もう一度運転入/切を押す

節電設定「タイマー6」ランプが点滅します。

4 もう一度止を押す

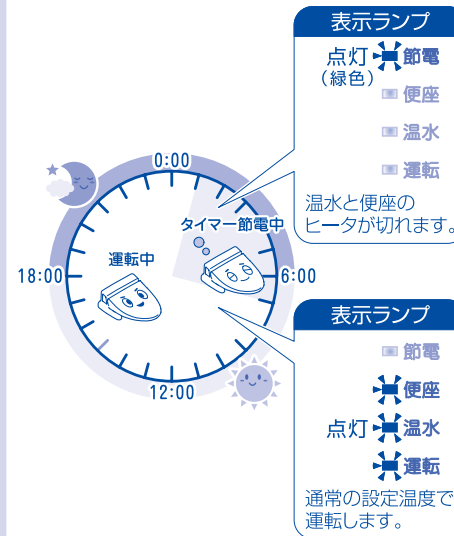
節電のしかた

節電機能にはタイマー節電・おまかせ節電の2通りがあります。

タイマー節電とは・・・

●お客様が設定する節電です。
一度設定すると、毎日その時間に自動で節電します。タイマー節電中は温水と便座のヒータが切れます。
節電時間は6・9時間のどちらかに設定できます。

例) 午前1時から7時まで(6時間) 節電をする場合



おまかせ節電とは・・・

●ウォシュレットが自動でする節電です。
トイレを使用した時間帯をウォシュレットが記憶していき、あまり使用しない時間帯を見つけ、自動で便座の温度を下げて(約26℃)節電します。

おまかせ節電をする場合



タイマー節電とおまかせ節電を同時に使うことができます

両方を使ったとき、例えばこのように節電します。



●タイマー節電中でないときに、おまかせ節電がはたらいて節電します。



タイマー節電のしかた

一度設定すると、毎日その時間に自動で節電します。

例) 午前1時から7時まで(6時間)節電をする場合

1 節電を開始したい時刻(午前1時)になったら操作部の「タイマー」を押す

↓
節電を始めます。

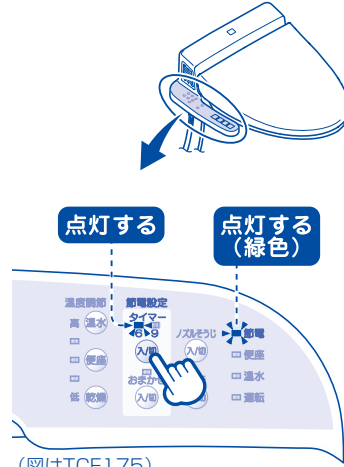
ウォシュレット本体操作部の「タイマー」ランプが点灯します。

2 「タイマー」を押して、6時間に設定する

タイマー節電中は操作部の「節電」ランプ(緑色)が点灯します。

アドバイス

- はじめは、節電時間は6時間に設定されています。
- タイマー節電中でも使えます。
- タイマー節電中でも便座に座れば、一時的に温水と便座のヒータが入ります。
- 温水になるまで約10分かかります。
- 便座があたたまるまで約15分かかります。



節電時間の変更

6・9時間のどちらかに設定を変更できます。

「タイマー」を押す

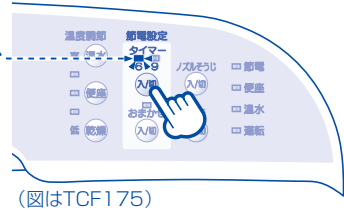
設定したい時間をお選びください。
スイッチを押すごとに、ランプが切り替わります。



※節電時間(6・9時間)を変更したいときは、節電を開始する時刻にもう一度設定してください。

アドバイス

節電開始時刻を変更したいときは、いったんタイマー節電をやめてから、開始したい時刻にもう一度「タイマー」を押してください。

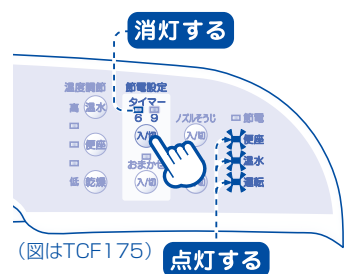


タイマー節電を使わないとき

「タイマー」ランプが消えるまで「タイマー」を繰り返し押す

↓
節電をやめます。

操作部の「運転」「温水」「便座」ランプが点灯します。



おまかせ節電のしかた

トイレを使用した時間帯をウォシュレットが記憶していき、あまり使用しない時間帯を見つけ、自動で便座の温度を下げ、節電します。

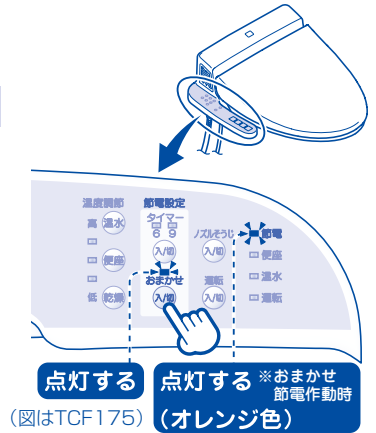
ウォシュレット本体操作部の「おまかせ」を押す

↓
自動で便座の温度を下げ、節電を始めます。

ウォシュレット本体操作部の「おまかせ」ランプが点灯します。
あまり使用しない時間帯になると「節電」ランプ(オレンジ色)が点灯します。

アドバイス

- トイレをあまり使用しない時間帯を見つけるまで、2~3日かかります。その間は徐々に節電をしていきます。
- おまかせ節電中でも使えます。おまかせ節電中の便座温度は約26℃に設定していますが、便座に座ると一時的にあたたかくなります。



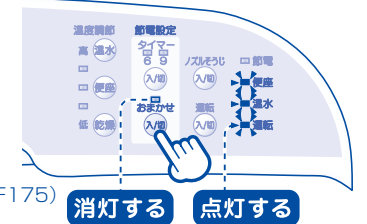
おまかせ節電を使わないとき

「おまかせ」を押す

↓
おまかせ節電をやめます。

ウォシュレット本体操作部の「おまかせ」ランプが消灯します。
「運転」「温水」「便座」ランプが点灯します。

(図はTCF175)



タイマー節電とおまかせ節電の両方を使うとき

スイッチを押す順番はどちらが先でもかまいません。

1 タイマー節電を開始したい時刻に、ウォシュレット本体操作部の「タイマー」を押す

タイマー節電のしかたは 32ページ

2 「おまかせ」を押す

おまかせ節電のしかたは 33ページ

かしく節電

- 温度調節を低めにしましょう。寒さを感じない範囲で、温度を低めに調節すると節電になります。
- 便ふたを閉めましょう。便ふたを閉めておくことで便座表面の熱が逃げにくくなり節電になります。
- 長時間使用しないときは「運転入/切」スイッチを「切」にしましょう。電源スイッチを「切」にしておくことで節電になります。

節電のしかた

お手入れのしかた

ピカピカの便器や水栓で、イメージアップ

便器などをピカピカにしておくと、それだけで印象がワンランクアップします。

掃除をラクにするコツ

便器や便座の汚れ、結露や床にこぼれた小水などは、気が付いたらサッとふき取る習慣をつけましょう。家族の協力も得て、気づいた人がその場で掃除をすることがポイントです。

ご注意ください!

掃除方法も使いかたを間違えると傷をつけてしまいます。下記の道具・洗剤は使用しないでください。

✕	プラスチック(樹脂)部分・ゴム部分	シンナー、ベンジン、クレンザー、ナイロンたわし、かわいい布、トイレトペーパー
	陶器部分	強酸性・強アルカリ性・研磨剤入りの洗剤、金属ブラシ、研磨入りナイロンたわし
	金属部分	たわし、ナイロンたわし、クレンザー、みがき粉、粗い粒子を含む洗剤、シンナー、ベンジン、塩素系洗剤、強アルカリ性薬品

日常のお手入れなら道具はこれ(基本道具)



やさしい布



台所用洗剤(中性)

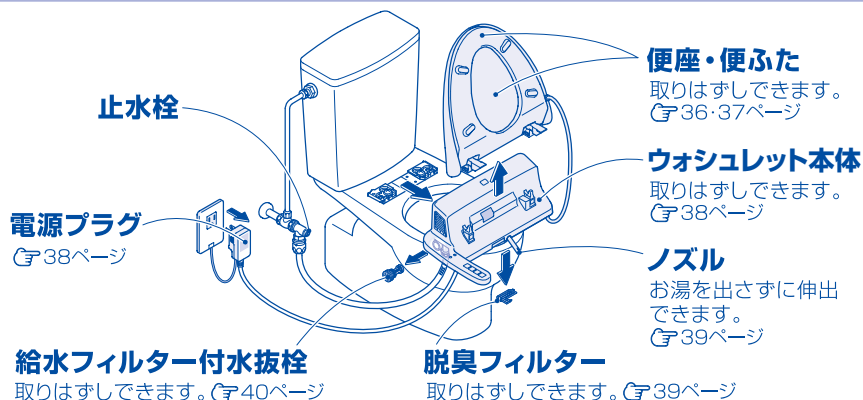


ウォシュレットクリーナー

各部分を取りはずして、すみずみまでお手入れできます。

ご注意ください!

お手入れのときには必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。
※「ノズルそうじスイッチ」機能を使用時は除きます。



日常のお手入れ

いつもピカピカに保つには・・・

やさしい布で水ぶきする

水でぬらしたやさしい布をよくしぼってふいてください。

アドバイス

- 製品はプラスチックできていますので、かわいい布やトイレトペーパーなどでふかないでください。傷つきの原因になります。また、ノズル本体は汚れをはしく効果が低下します。
- ウォシュレットは電気製品です。内部に水が入らないよう十分に気をつけてください。洗剤がウォシュレット本体と便器のすき間に残らないようにしっかりふき取ってください。
- 着座センサーをきれいにしましょう!汚れていると各機能が作動しないことがあります。
(P5、46ページ)



水でぬらしたやさしい布をよくしぼってふく



便器用洗剤が付着したときは・・・

やさしい布で水ぶきした後、水滴をふき取ってください。

便器のお手入れ

トイレ用ブラシやスポンジで水洗いしてください。

床のお手入れ

便器から飛び出した小便や器具についた露が床に落ちたときは、よくしぼったぞうきんでふき取ってください。掃除の際、床に落ちた洗剤や水もよくしぼったぞうきんでふき取ってください。



よくしぼったぞうきんでふき取る

汚れがひどいときは・・・

ウォシュレットクリーナー、またはうすめた台所用洗剤(中性)をふくませたやさしい布でふき取ってください。その後、水ぶきを行ってください。ウォシュレットクリーナーのお求めは(P50ページ)



ウォシュレットクリーナーかうすめた台所用洗剤で

ご注意ください!

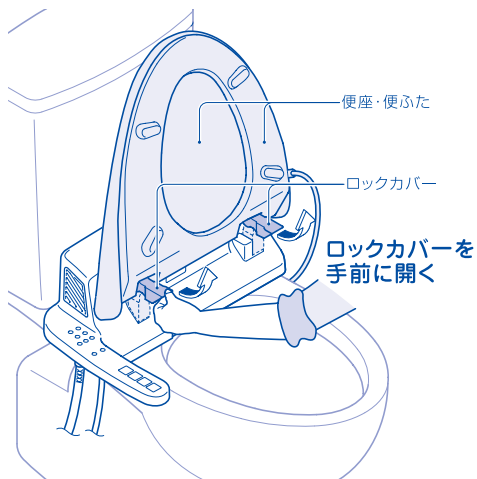
便器内を洗剤でお手入れするときは・・・
便器内の掃除にトイレ用洗剤及び消毒剤などを使用するときは、早目(3分以内)に洗い流した後、便座・便ふたは開けたままにしておいてください。また、便器についた洗剤は確実にふき取ってください。(便器用洗剤などの気化ガスがウォシュレット本体に入り、故障の原因になります。)

念入りなお手入れ

ウォシュレット本体、便座、便ふた

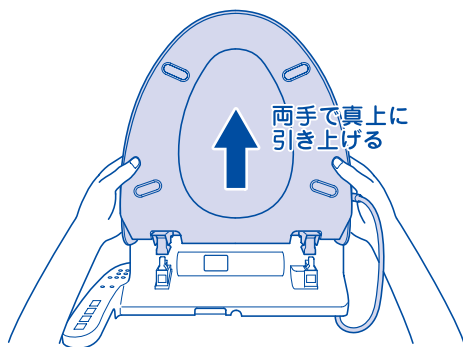
便座・便ふたが取りはずせませんので、すみずみまで掃除できます。

- 1 電源プラグを抜く
- 2 便座・便ふたを開けて、左右のロックカバーを開ける



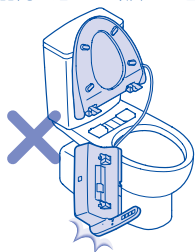
- 3 便座・便ふたを両手で真上に引き上げる

※便座コードははずせません。
※斜めに引き上げたり、無理に力を加えないでください。(破損の原因になります。)



アドバイス

- 取りはずした便座・便ふたは傷がつかないように置いてください。
- 便座・便ふたを取りはずして掃除するときは、ウォシュレット本体を取りはずさないでください。(床や便器内に落とし、故障の原因になります。)



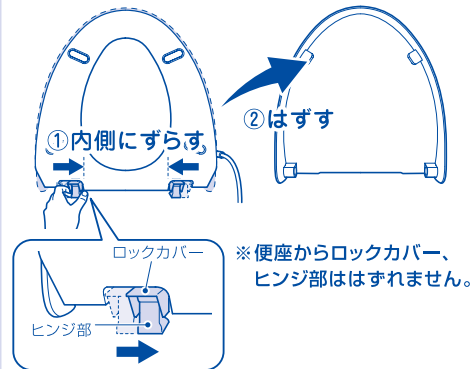
- 4 ウォシュレット本体及び便座・便ふたの掃除をする

お手入れのしかたは・・・
③35ページの「日常のお手入れ」と同じ要領で行ってください。

便座から便ふたをはずすことができます!

【取りはずしかた】

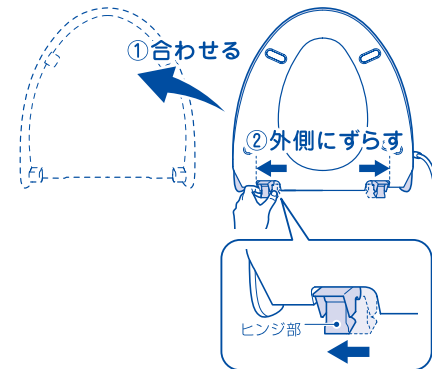
- ①左右のヒンジ部を内側に動かす
- ②便座と便ふたがはずれる



※便座からロックカバー、ヒンジ部ははずれません。

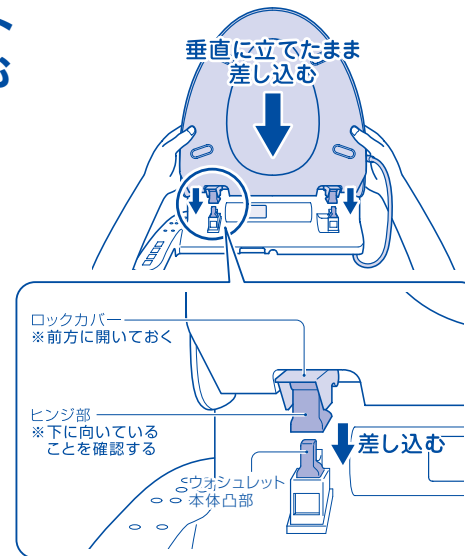
【取り付けかた】

- ①便ふたの上に便座を合わせる
- ②左右のヒンジ部を外側に動かす

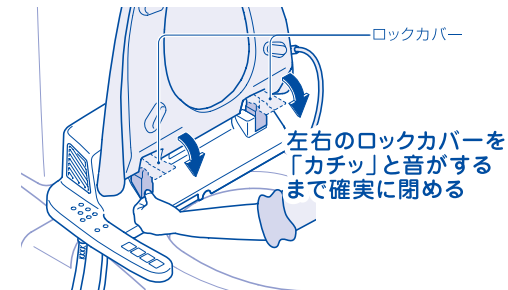


- 5 左右のヒンジをウォシュレット本体凸部に合わせて差し込む

左右のヒンジ部を下に向けてください。
※便座コードを便器と便座の間にはさまないようにしてください。
※便座コードをねじったまま取り付けないでください。



- 6 ロックカバーを閉める



- 7 電源プラグを差し込む

ウォシュレット本体と便器のすき間

月に1度
お手入れ

ウォシュレット本体をはずして、便器の上面やウォシュレット本体底面も掃除できます。

- 1 電源プラグを抜く
- 2 ウォシュレット本体を取りはずす

ウォシュレット本体右側の本体はずしボタン（及び水抜きレバー）を押したまま、ウォシュレット本体を手前に引いてください。

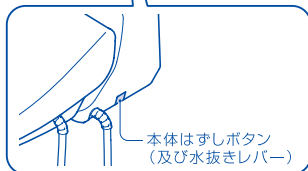
※給水ホース、電源コードがありますので、無理に引っ張らないでください。

アドバイス

ウォシュレット本体をはずした状態で本体はずしボタン（及び水抜きレバー）を引くと製品内の水が出てきます。（約1.2L）
本体はずしボタン（及び水抜きレバー）は水抜きするとき以外は引かないでください。



ボタンを押したまま
ウォシュレット本体を
手前に引く



本体はずしボタン
（及び水抜きレバー）

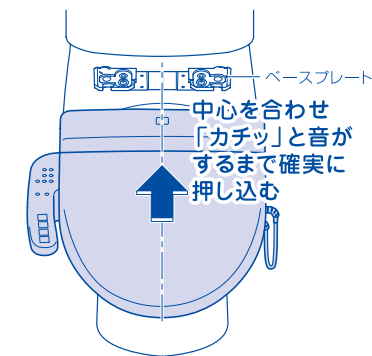
- 3 掃除をする

☞35ページの「日常のお手入れ」と同じ要領で行ってください。

- 4 ウォシュレット本体を取り付ける

①ウォシュレット本体の中心とベースプレートの中心を合わせる
②便器面にウォシュレット本体をすべらせて「カチッ」と音がするまで、確実に押し込む

※ウォシュレット本体をベースプレートに確実に押し込まないとウォシュレットは作動しません。



ベースプレート
中心を合わせ
「カチッ」と音が
するまで確実に
押し込む

- 5 電源プラグを差し込む

お手入れ

定期的なお手入れ

電源プラグ

正常に作動することを
確認してください。

月に1度
点検

- 1 電源プラグを抜く

- 2 掃除をする

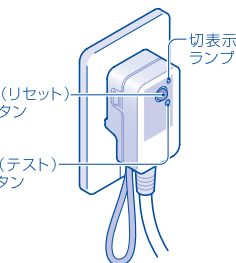
電源プラグの刃などについたほこりをかわいた布で取り除いてください。

- 3 電源プラグを差し込む

根元まで確実に差し込んでください。

- 4 点検をする

●「切（テスト）」ボタンを押す（「切表示」ランプが点灯します。）
●「入（リセット）」ボタンを押す（「切表示」ランプが消灯します。）
※「切表示」ランプが点灯している状態では通電されません。
点検後は必ず「入（リセット）」ボタンを押してください。



入（リセット）
ボタン

切（テスト）
ボタン

切表示
ランプ

脱臭フィルター

月に1度
お手入れ

においが気になる場合は、ウォシュレット本体をはずして脱臭フィルターの掃除を行ってください。

- 1 電源プラグを抜いてウォシュレット本体を取りはずす

ウォシュレット本体の取りはずしかたは☞38ページ

- 2 脱臭フィルターをはずす

- 3 掃除をする

アドバイス

●フィルターは水洗いできますが、取り付ける前に水気を取ってください。
●フィルターの汚れ、目詰まりなどがひどい場合には、交換をおすすめします。

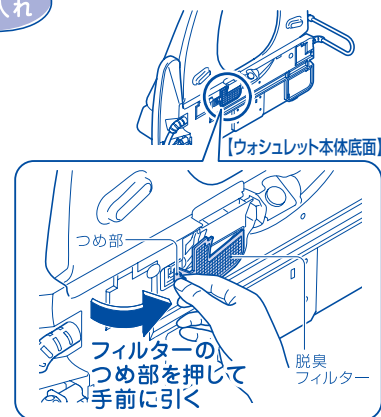
交換部品／別売品 ☞50ページ

- 4 脱臭フィルターを取り付ける

※フィルターなしでのご使用は絶対にしないでください。（故障の原因になります。）

- 5 ウォシュレット本体を取り付けて電源プラグを差し込む

ウォシュレット本体の取り付けかたは☞38ページ



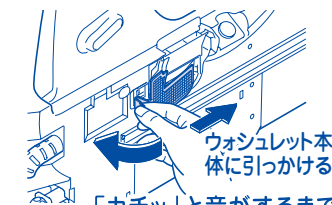
ウォシュレット本体底面



つまみ部
フィルターの
つまみ部を押して
手前に引く



ほこりを歯ブラシ
などで落とす



ウォシュレット本
体に引っかける
「カチッ」と音がするまで
確実に取り付ける

ノズル

ノズルがお湯を出さずに伸出するので掃除がラクにできます。

- 1 ウォシュレット本体操作部の **ノズル出し** を押し、ノズルを出す

ノズルは約5分後に自動で戻ります。



（図はTCF175）

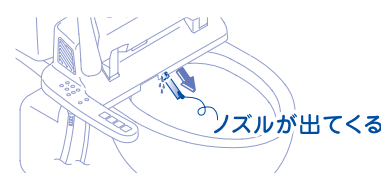
アドバイス

ノズルの根元から掃除のための水が出ます。

- 2 掃除をする

※ノズルを無理に引っ張ったり、押さえたりしないでください。（破損や故障の原因になります。）

- 3 **ノズル戻し** を押し、ノズルを戻す



ノズルが出てくる



やわらかい布で
水ぶきする



ノズルが戻り
自動でノズル
を洗浄する

念入りなお手入れ／定期的なお手入れ

給水フィルター

洗浄の水勢が弱くなったと感じたら、給水フィルターの掃除を行ってください。

1 止水栓を閉めて給水を止める

- ① 止水栓を⊖ドライバーで閉める
- ② を押し、ノズルを伸出させた後、もう一度 を押す（給水管の圧抜きをします。）

注意 止水栓を開けたままで、給水フィルター付水抜栓をはずさない
水が噴き出します。

2 給水フィルター付水抜栓をはずす

3 掃除をする

※小さいゴミは、歯ブラシなどを使って確実に取り除いてください。
※給水フィルター付水抜栓取付穴の中のゴミも、綿棒などで取り除いてください。

アドバイス

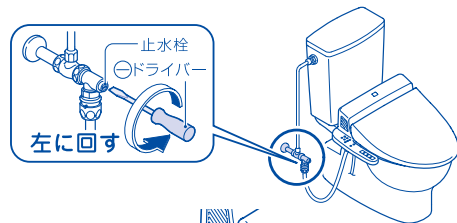
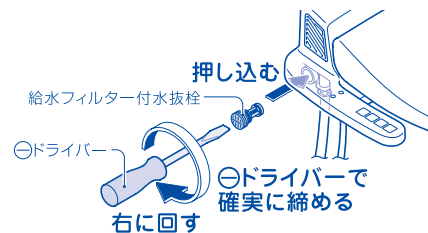
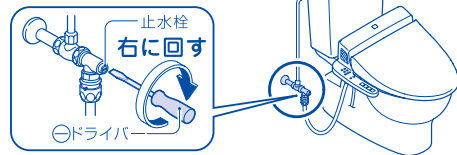
- 洗剤は使わず水洗いしてください。
- フィルターをはずしたり、破ったりしないでください。
- フィルターの汚れ、目詰まりなどがひどい場合には、交換をおすすめします。交換部品/別売品 (P50ページ)

4 給水フィルター付水抜栓を取り付ける

注意 給水フィルター付水抜栓は確実に締める
確実に締めないと水漏れの原因になります。

5 止水栓を開ける

※給水フィルター付水抜栓部から水漏れしていないか、確認してください。



こんなときは

凍結による破損の予防及び長期間使わないときの処置

凍結が予想されるとき

周囲の温度が氷点下にならないように、トイレ室内をあたためるか、できないときは水抜きを行ってください。凍結のおそれがある場合は、次の手順に従って予防してください。製品が凍結すると部品が破損し、水漏れの原因になります。

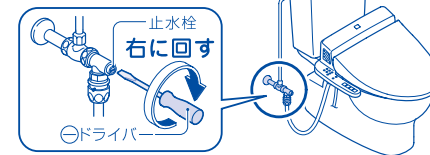
アドバイス

節電はしないでください。
凍結により製品が破損することがあります。
タイマー節電を使わないときは P32ページ
おまかせ節電を使わないときは P33ページ

水抜きのしかた

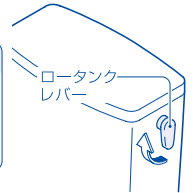
1 ロータンクの水を抜く

- ① 止水栓を⊖ドライバーで閉めて、給水を止める



- ② ロータンクレバーを大洗浄側に回し、ロータンクの水を抜く

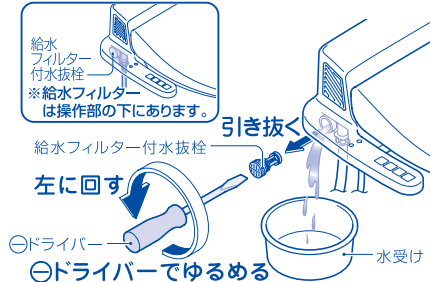
アドバイス ロータンクの水が流れ出てしまうまで、ロータンクレバーを回したままにしてください。



2 配管の水を抜く

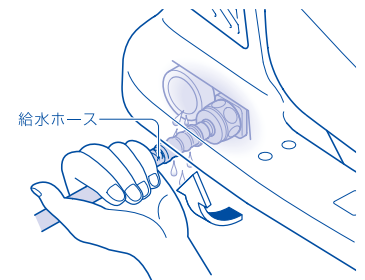
- ① 操作部の を押す
(製品内部の残水を抜きます。)

- ② 給水フィルター付水抜栓をはずす



注意 止水栓を開けたままで、給水フィルター付水抜栓をはずさない
水が噴き出します。

- ③ 給水ホースを水平にして、ホース内の水を抜く(約30ml)



- ④ もう一度、 を押す
(ノズルを元に戻します。)

定期的なお手入れ

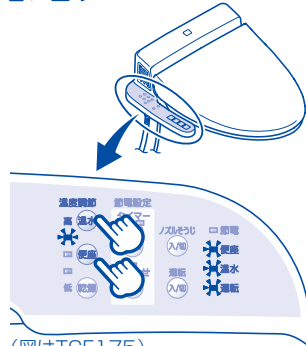
?

長期間使わないときの処置
凍結による破損の予防及び

⑤給水フィルター付水抜き栓を取り付ける



注意 給水フィルター付水抜き栓は確実に締める。確実に締めないとお水漏れの原因になります。



(図はTCF175)

③ ウォシュレット内を保温する

①操作部の「運転」ランプが点灯していることを確認し、温水・便座温度設定を「高」にする

※凍結予防の作業後には、便座・便ふたを閉めた状態にしてください。

長期間使わないときの処置

長期間使用しないときは、水が腐敗して皮膚の炎症などを起こす原因になります。また、製品が凍結するおそれがありますので、水抜きを行ってください。

アドバイス

【水抜きをしましょう!】
・冬季に帰省されるとき
・別荘などで使用されるとき
・冬季の留守のときは冷え込みが厳しくなります。凍結予防のために、必ず水抜きをしてください。

水抜きのしかた

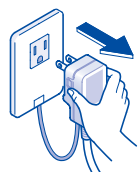
① ロータンクの水を抜く

☎41ページ

② 配管の水を抜く

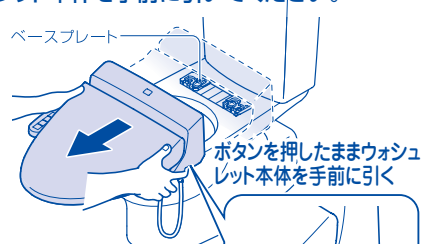
☎41ページ

③ 電源プラグを抜く



④ ウォシュレット本体を取りはずす

ウォシュレット本体右側の本体はずしボタン(及び水抜きレバー)を押したまま、ウォシュレット本体を手前に引いてください。

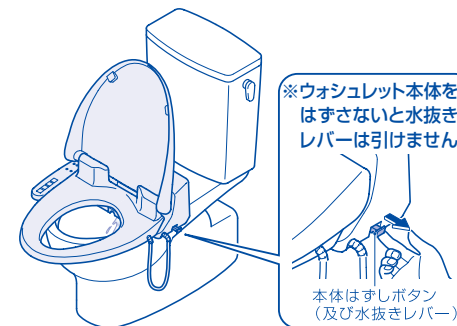


※取りはずしたウォシュレット本体は、便器上面の前側に置いてください。



⑤ 本体はずしボタン(及び水抜きレバー)を引いてウォシュレット本体内の水を抜く

ノズルの横から水が出ますので便器内に排水してください。完全に抜けるまで3分くらいかかります。



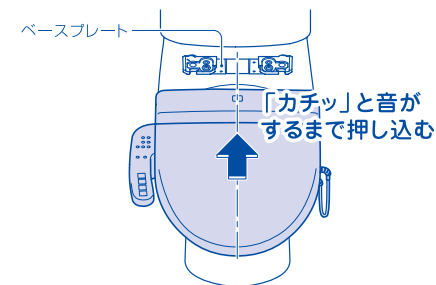
⑥ 本体はずしボタン(及び水抜きレバー)を戻す

⑦ ウォシュレット本体を取り付ける

①ウォシュレット本体の中心とベースプレートの中心を合わせる

②便器面にウォシュレット本体をすべらせて「カチッ」と音がするまで、確実に押し込む

※ウォシュレット本体をベースプレートに確実に押し込まないとウォシュレットは作動しません。



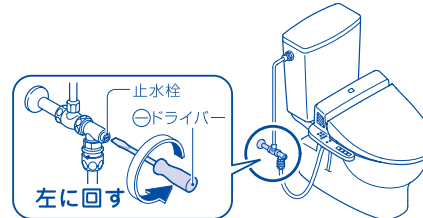
⑧ 便器に不凍液を入れる

水抜き後に再通水するとき

① 止水栓を開ける

止水栓をドライバーで開けてください。

※配管やウォシュレット本体から水漏れしていないことを確認してください。



② 電源プラグをコンセントに差し込む

③ ノズルから吐水させる

着座センサーを白紙でおおい、押しボタンを押してノズルから約2分間吐水させてください。

(ノズルから吐水するまでは約1分かかります。吐水は紙コップなどで受けてください。)

アドバイス

残水が凍結して水が出ないときは、トイレ内をあたため、お湯に浸した布で給水ホース及び止水栓をあたためてください。

凍結による破損の予防及び長期間使わないときの処置



故障かな!?!?と思ったら

故障かな!?!?と思ったらまずこの章をご覧ください。処置方法をためてみてください。
それでも直らないときは、販売店またはTOTOメンテナンス(株)修理受付センターにご相談ください。

修理を依頼される前に次のことを確認してください。

⚠️ 注意


水漏れが発生したときは、止水栓を閉めて給水を止める

❗️
必ず守る









①ドライバー

全機能

現象	確認(原因)	処置
全く動かない	停電したりブレーカが切れていませんか。	停電が復帰するまでお待ちください。また、ブレーカを「入」にしてください。
	電源プラグの「切表示」ランプが点灯していませんか。	「入(リセット)」ボタンを押してください。☎️38ページ
	ウォシュレット本体操作部のすべてのランプが消灯していませんか。	ウォシュレット本体操作部の  を押してください。☎️24ページ
	ウォシュレット本体がベースプレートからはずれていませんか。	ウォシュレット本体を一度はずしてもう一度ベースプレートにセットし直してください。☎️38ページ



おしり洗浄・ビデ洗浄

現象	確認(原因)	処置
洗浄水が出ない	断水していませんか。	 を押し、断水が解除するまでお待ちください。
	止水栓が閉まっていますか。	止水栓を開けてください。☎️24ページ
	給水ホースにプラグがきちんと差し込まれていますか？	止水栓を閉めてから、プラグをきちんと差し込み直してください。☎️22ページ
	着座センサーがはたらきにくい状態になっていませんか。	着座センサーの項目をご覧ください。☎️46ページ
	ウォシュレット本体がベースプレートからはずれていませんか。	ウォシュレット本体を一度はずしてもう一度ベースプレートにセットし直してください。☎️38ページ
洗浄水勢が弱い	水勢の設定が弱くなっていませんか。	ウォシュレット本体操作部の「水勢調節」スイッチの  を押してください。☎️26ページ
	給水フィルターが詰まっていますか。	給水フィルターを掃除してください。☎️40ページ
洗浄水が冷たい	温水温度の設定が「切」、または低くなっていませんか。	温水温度の設定を「入」または「高」にしてください。☎️28ページ
	タイマー節電中になっていませんか。	便座に座ってから約10分お待ちください。☎️32ページ
洗浄水が途中で止まった	 または  を押してから約5分後に自動で止まります。	もう一度  または  を押してください。☎️26ページ
	着座センサーがはたらきにくい状態になっていませんか。	着座センサーの項目をご覧ください。☎️46ページ

暖房便座

現象	確認(原因)	処置
便座があたたかくない	便座ヒータが「切」、または便座温度の設定が低くなっていませんか。	便座温度の設定を「入」又は「高」にしてください。☎️28ページ
	タイマー節電中になっていませんか。	便座に座るとヒータが入り、約15分であたたかくなります。☎️32ページ
	おまかせ節電中になっていませんか。	便座に座ると一時的にあたたかくなります。☎️33ページ
便座が冷たくなった	着座センサーがはたらきにくい状態になっていませんか。	着座センサーの項目をご覧ください。☎️46ページ
	便座に座ってから約1時間後に自動で便座ヒータが切れます。便座から離れると自動で便座ヒータが入ります。	—

温風乾燥(TCF175のみ)

現象	確認(原因)	処置
温風温度が低い	乾燥温度の設定が低くなっていませんか。	乾燥温度の設定を「高」にしてください。☎️28ページ
温風乾燥が途中で止まった	 を押してから約10分後に自動で止まります。	もう一度  を押してください。☎️27ページ
温風乾燥が全く動かない	着座センサーがはたらきにくい状態になっていませんか。	着座センサーの項目をご覧ください。☎️46ページ
	着座センサーがはたらきにくい状態になっていませんか。	着座センサーの項目をご覧ください。☎️46ページ
	ウォシュレット本体がベースプレートからはずれていませんか。	ウォシュレット本体を一度はずしてもう一度ベースプレートにセットし直してください。☎️38ページ

脱臭

現象	確認(原因)	処置
脱臭が作動しない	着座センサーがはたらきにくい状態になっていませんか。	着座センサーの項目をご覧ください。☎️46ページ
	ウォシュレット本体がベースプレートからはずれていませんか。	ウォシュレット本体を一度はずしてもう一度ベースプレートにセットし直してください。☎️38ページ
あまりにおいがとれないときがある	脱臭フィルターが詰まっていますか。	脱臭フィルターを掃除してください。☎️39ページ 脱臭フィルターの掃除をしてもにおいが気になる場合は、脱臭カートリッジの交換をおすすめします。☎️47ページ
脱臭が勝手に作動した	次のような場合、着座センサーが検知して、脱臭が作動することがあります。故障ではありません。 ●掃除のとき ●ロータンクレバーを操作したとき など	—

節電機能

現象	確認(原因)	処置
おまかせ節電のスイッチを入れても節電しない	トイレをあまり使用しない時間帯を見つかるまで2~3日かかります。同じ時間帯に週3回程度お使いになると節電しないことがあります。故障ではありません。	—
正しい時間に節電しない	電源プラグを抜いたり、停電していませんか。(設定時間がずれることがあります。)	タイマー節電は「入」にしてください。(電源が一度切れると「タイマー」ランプが点滅してお知らせします。) おまかせ節電は翌日から通常通りはたらくようになります。☎️33ページ



ソフト閉止		
現象	確認(原因)	処置
便座・便ふたカバーをつけると開まりかたが速くなった	カバーの重さで少し速くなります。故障ではありません。	—
夏と冬で閉まる速さが変わった	室温変化や使用頻度によって少し速さが変わります。故障ではありません。	—
着座センサー		
現象	確認(原因)	処置
便座に座っていないのに、スイッチを押すとおしり洗浄や脱臭などが作動する	着座センサーがおおわれていませんか。	着座センサーをおおわないようにしてください。(P5ページ)
	着座センサーにゴミや水滴などの汚れがついていませんか。	ゴミや水滴などの汚れを取り除いてください。
便座に座っているのに、おしり洗浄や脱臭などが作動しない	座りかた、服の色、布地によって着座センサーが検知しにくいことがあります。	便座に深く腰掛けたり、衣服を少し持ち上げ肌を検知するようにしてお使いください。
	衣服で着座センサーがおおわれていませんか。着座センサーにゴミや水滴などの汚れがついていませんか。	衣服またはゴミや水滴などの汚れを取り除いてください。
便座が冷たいおしり洗浄などが作動しない	市販品の便座・便ふたカバーを取り付けていませんか。市販品の便座・便ふたカバーを取り付けると着座センサーが長時間検知したままとなり便座ヒータやおしり洗浄などが作動しなくなります。	市販のカバーをはずして、電源プラグの「入」「切」ボタンを押してリセットしてください。便座・便ふたカバーは、TOTO専用品を取り付けてください。(P50ページ)
その他		
現象	確認(原因)	処置
ウォシュレット本体がガタつく	ウォシュレット本体を固定しているベースプレートのボルトがゆるんでいませんか。	ベースプレートのボルトをしっかりと締め直してください。
配管接続部から水漏れしている	接続ナットがゆるんでいませんか。	モンキーレンチで増し締めしてください。
タンクに水が給水されない	ボールタップ本体が傾いて浮玉がタンク壁などに当たっていませんか。	浮玉が当たらないようにボールタップ本体を取り付けなおしてください。(P13、16、18ページ)

このときは
こんな

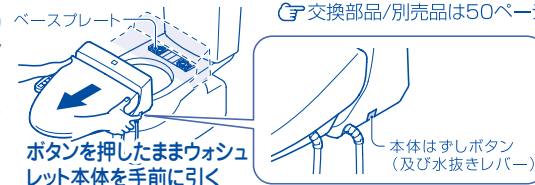
脱臭カートリッジの取り替えかた

脱臭フィルターを掃除しても、まだにおいが気になる場合は、脱臭カートリッジの交換をおすすめします。

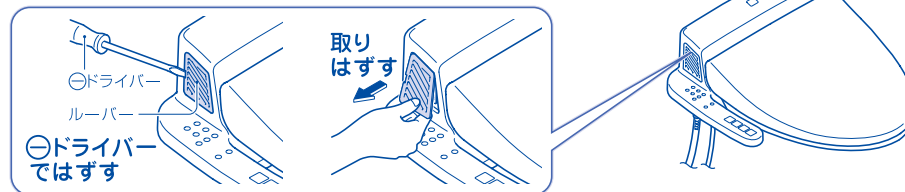
交換部品/別売品は50ページ

1 ウォシュレット本体を取りはずす

ウォシュレット本体右側の本体はずしボタン(及び水抜きレバー)を押したまま、ウォシュレット本体を手前に引いてください。



2 ウォシュレット本体左側のルーバーをはずす

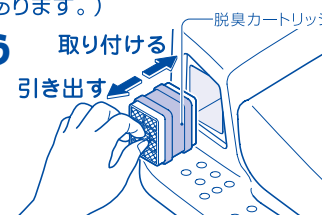


3 脱臭カートリッジの突起をつまんで引き出す

※脱臭カートリッジの黒粉が手に付いた場合は、すぐに手を洗ってください。(皮膚や目などに接触した場合、炎症を起こすおそれがあります。)

4 新しい脱臭カートリッジを右図のように取り付ける

※脱臭カートリッジは確実に奥まで押し込んでください。



5 ルーバーを取り付ける

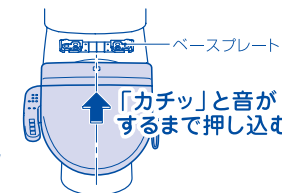
- ①ルーバーの突起をウォシュレット本体に差し込む
- ②「カチッ」と音がするまでルーバーを押し込む

※ルーバーを2~3カ所押さえて取り付けてください。ルーバーがウォシュレット本体より出していないことを確認してください。



6 ウォシュレット本体を取り付ける

- ①ウォシュレット本体中心とベースプレートの中心を合わせる
 - ②便器面にウォシュレット本体をすべらせて、「カチッ」と音がするまで、確実に押し込む
- ※ウォシュレット本体をベースプレートに確実に押し込まないとウォシュレットは作動しません。



故障かな!?と思ったら、脱臭カートリッジの取り替えかた



アフターサービス

修理を依頼される前に、「故障かな!?と思ったら」の項をご確認ください。

保証書

- 必ず「販売店名、お買い上げ日」などの記入をお確かめになり保証書をよくお読みの上、大切に保存してください。
- 保証期間は、お買い上げ日から1カ年です。

部品交換について

無料修理により取りはずされた部品・製品はTOTO(株)の所有となります。

保証期間経過後 修理を依頼されるとき

お求めの販売店またはTOTOメンテナンス(株)修理受付センターにまずご相談ください。修理により製品の機能が維持できる場合には、ご要望により有料で修理します。

補修用性能部品の最低保有期間

ウォシュレットの補修用性能部品の最低保有期間は、製造打切後6年です。なお、補修用性能部品とは、その製品の性能を維持するために必要な部品です。

定期点検のおすすめ(有料)

- 逆流防止装置(バキュームブレーカー、Oリング)は必ず6年ごとに定期点検を行ってください。(水が逆流し、人体に影響を及ぼす原因になります。)
- 機能部品は、お買い上げ日より3年以上たったものは定期点検をおすすめします。なお、点検はTOTOメンテナンス(株)修理受付センターにご依頼ください。

お問い合わせ先

TOTOメンテナンス(株)修理受付センター
TEL ☎0120-1010-05 FAX ☎0120-1010-02
受付 年中無休/受付時間 関東・甲信越地区8:00~20:00
上記以外の地区 9:00~20:00
訪問修理 年中無休(一部地域を除く)/営業時間 9:00~18:00

- 定期点検を行った日付を記入しておきましょう!

	日付
お買い上げ日	
1回目点検日	
2回目点検日	
3回目点検日	

修理料金のしくみ【TOTOメンテナンス(株)修理受付センターにご依頼の場合】

修理料金は **技術料** + **部品代** + **出張料** で構成されています。

商品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。

修理に使用した部品代です。

診断・故障箇所の修理及び部品交換・調整・修理完了時の点検などの作業にかかる費用です。

保証期間中に修理を依頼されるとき

- もう一度説明書をよくお読みいただき確認のうえ、なお異常のあるときにはお求めの販売店またはTOTOメンテナンス(株)修理受付センターに修理を依頼してください。保証書の記載内容により修理いたします。
- 修理を依頼されるときは必ず保証書をご提示ください。

連絡していただきたい内容

- ご住所、ご氏名、電話番号
- 製品名
品番(TCF...)…便ふたの裏をご覧ください。
お買い上げ日…保証書をご覧ください。
- 訪問ご希望日

【お客様の個人情報のお取扱い】

お客様からお預りした個人情報は関連法令及び社内諸規定に基づき、慎重かつ適切にお取り扱いします。
詳しくはTOTOホームページ
<http://www.toto.co.jp/>をご覧ください。

仕様

項目	内容
定 格 電 源	交流100V 50/60Hz
定 格 消 費 電 力	414W
区 分※1	貯湯式
年 間 消 費 電 力 量※2	183kWh (243kWh)
電 源 コ ー ド 長 さ	1.0m (漏電保護プラグ、アース線付)
吐水量	おしり洗浄 約0.35~0.90L/min (水圧0.2MPaのとき)
	ビデ洗浄 約0.45~1.00L/min (水圧0.2MPaのとき)
洗 浄 装 置	吐 水 温 度 温度調節範囲 切、約30~40℃
ヒ ー タ 容 量	350W
タ ン ク 容 量	1.14L
安 全 装 置	温度ヒューズ、温度過昇防止器、空焚き防止フロートスイッチ
逆 流 防 止 装 置	バキュームブレーカー、逆止弁
温風乾燥装置 (TCF175のみ)	温 風 温 度 ※3 温度調節範囲 約40~59℃
	風 量 0.30m³/min
	ヒ ー タ 容 量 350W
暖 房 便 座	安 全 装 置 温度ヒューズ
	表 面 温 度 温度調節範囲 切、約28~35℃ (おまかせ節電時 約26℃)
	ヒ ー タ 容 量 50W
脱 臭 装 置	安 全 装 置 温度ヒューズ
	方 式 O ₂ 脱臭
給 水 圧 力	風 量 0.09m³/min
給 水 温 度	最低必要水圧:0.05MPa(流動圧) 最高水圧:0.75MPa(静水圧)
周 囲 使 用 温 度	0~35℃
製 品 寸 法	0~40℃
製 品 質 量	幅490mm、奥行535mm、高さ178mm
	TCF175 : 5.2kg、TCF165 : 5.0 kg

※1 省エネ法(2012年度基準)の区分

※2 省エネ法(2012年度基準)に基づいた測定値

()内はタイマー節電機能を使用しない場合の年間消費電力量

※3 温風吹出口付近における当社測定点の温度

※この製品は、日本国内専用です。

抗 菌 (※抗菌力は、抗菌加工された製品の表面に細菌が直接触れないと発揮されません。)

抗 菌 効 果	製品表面の細菌の増殖を抑制します。これはJIS Z2801の抗菌性試験方法による試験をJNLA認定試験所で実施し、その結果がJIS Z2801の抗菌効果の基準を満たしたものです。これにより感染防止、防汚、防カビ、防臭、ぬめり防止などの副次的効果を訴求するものではありません。	
抗 菌 加 工 部 位	暖房便座、便ふた、ノズルヘッド、操作部(表面シート)	禁 止 事 項
抗 菌 剤 の 種 類	無機系(銀)	酸性、アルカリ性の洗剤は使用しないでください。
抗 菌 性 能 持 続 性	(社)日本建材・住宅設備産業協会基準により確認	取 扱 注 意 事 項
安 全 性	(社)日本建材・住宅設備産業協会基準により確認	抗菌力を発揮させるために、製品の表面はよく掃除された状態に保ってください。

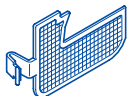


交換部品 / 別売品

●品番や希望小売価格は予告なく変更する場合がありますので、あらかじめご了承ください。

交換部品

脱臭フィルター
(品番:D45339)



【希望小売価格¥30(税込¥32)】

給水フィルター付水抜栓
(品番:D43409Z)



【希望小売価格¥325(税込¥341)】

便座クッション
(品番:D57045-1R)



【希望小売価格¥30(税込¥32)】

便ふたクッション
(品番:D42165R)



【希望小売価格¥25(税込¥26)】

脱臭カートリッジ
(品番:TCA83-2)



【希望小売価格¥1,350(税込¥1,418)】

別売品

ウォシュレットクリーナーきらりあ

品番	ENL500
希望小売価格	¥1,000(税込¥1,050)
容量	185ml



便座・便ふたカバー

- 便座・便ふたカバーをお取り付けになるときは、必ずTOTO専用力カバーをお求めください。お求めの際は、TOTOメンテナンス(株)TOTOパーツセンターへご連絡ください。
※市販のカバーでは取り付けができない場合や便座が立たなかったり、誤作動の原因になることがあります。

商品のお問い合わせはTOTO(株)お客様相談室へ

TEL ☎ 0120-03-1010
FAX ☎ 0120-09-1010

受付時間: 平日 9:00~18:00
土・日・祝日 10:00~18:00
(夏期休暇・年末年始を除く)

インターネットホームページ <http://www.toto.co.jp/>

交換部品/別売品の購入はTOTOメンテナンス(株)TOTOパーツセンターへ

TEL ☎ 0120-8282-55
FAX ☎ 0120-8272-99

受付時間: 平日 9:00~18:00
土・日・祝日 10:00~18:00
(夏期休暇・年末年始を除く)

温水洗浄便座 重大事故防止のためのお願い

温水洗浄便座は 電気製品で 寿命があります

故障したままで使いつづけないでください。

故障したままのご使用は、火災や感電、室内浸水の原因になります。異常に気づいたら、電源プラグを抜き、止水栓を閉めてご使用を中止し、販売店、工事店またはメーカーのサービス会社へご連絡ください。



定期的な点検をおすすめします。

安心してご使用いただくため、定期的な点検をおすすめします。また、長期間(10年以上)ご使用の温水洗浄便座は買い替えをご検討ください。使い勝手、機能性、省エネ性能も向上しています。販売店、工事店またはメーカーにご相談ください。

安全にご使用いただくために

日ごろのご使用にあたり、取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。

便座や本体に小水や洗剤をかけないでください。故障や火災の原因になります。

酸性やアルカリ性の洗剤を使わないでください。内部の電気部品や金属を腐食させます。

電源プラグのほりは取り除いてください。トラッキング現象で火災の原因になります。

故障したままで使いつづけないでください。火災や感電、室内浸水の原因になります。

温水洗浄便座協議会 <http://www.sanitary-net.com> ☎ 0120-39-7718 受付時間 平日09:00~17:00 後援 経済産業省